

男女ハートフル共生プラン
～茂原市男女共同参画計画（第3次）～

平成29年度事業評価報告書

平成31年2月

茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会
茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会

はじめに

茂原市では、平成28年3月に「男女ハートフル共生プラン～茂原市男女共同参画計画（第3次）～」を策定し、男女共同参画施策の推進に取り組んでおります。

計画の進行管理については、毎年度、事業の進捗状況について、担当課による1次評価（自己評価）、庁内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（以下、「推進委員会」という）」による2次評価及び市民で構成される「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（以下、「協議会」という）」による3次評価（外部評価）を実施しております。

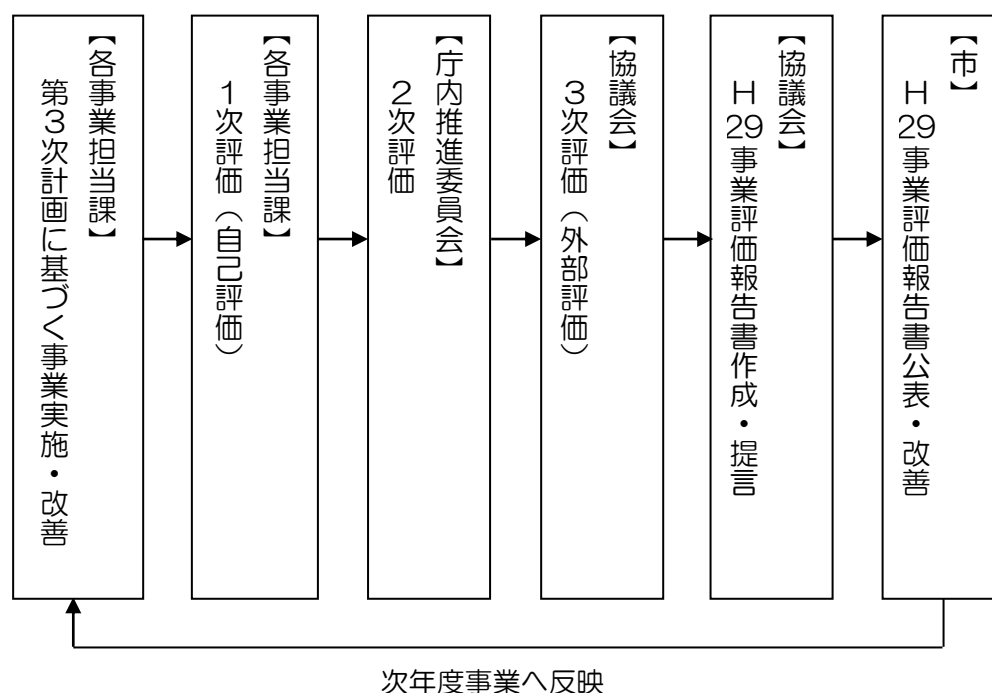
外部評価を行うことにより、評価の透明性が確保され、市民目線も取り入れた男女共同参画施策がさらに効果的に推進されることが期待できます。

平成29年度の事業評価にあたりましては、2次評価では全60事業を、3次評価（外部評価）では60事業のうちの重点評価事業について、重点的に評価を行いました。

この「平成29年度 事業評価報告書」は、計画に掲げる施策を推進するため、プランに掲げた各事業の「実施結果及び次年度の取り組み」とともに推進委員会及び協議会が行った事業評価等を一体的に掲載したものであり、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の取り組みに反映できるようにすることを目指し提言するものです。

1. 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制

◆ 茂原市男女共同参画計画（第3次）推進体制連携図



◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」（市役所内組織）16名

茂原市男女共同参画計画に基づく施策の進行管理と男女共同参画に関する意識啓発を行う、市役所内各部から男女1名ずつ選出された委員で構成される委員会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会委員＞

氏名	所属	役職
森 康博	総務部	委員長
市原 絹子		委員
大多和 新士	企画財政部	委員
熊切 聖菜		委員
丸 典弘	市民部	委員
畠山 彩		委員
中村 栞	福祉部	委員
森山 雄介		委員
青木 盛晃	経済環境部	委員
石井 知恵		委員
進 竜星	都市建設部	委員
渡邊 千絵美		委員
秋葉 智幸	教育部	委員
篠崎 光代		委員
金木 直美	議会・農業委員会・選挙管理 委員会・監査委員 事務局	副委員長
井上 一平		委員

【任期1年：平成30年4月1日～平成31年3月31日】

◆「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」（外部組織）10名

茂原市における男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画の総合的推進を図る組織として市民で構成された協議会

＜茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会委員＞

氏名	役職	区分
大塚 節子	会長	学識経験者
加藤 祐明	副会長	一般公募
小久保 とも子	委員	市議会議員
及川 哲子	委員	千葉県男女共同参画地域推進員
森川 礼子	委員	一般公募
永沼 洋子	委員	一般公募
白土 和子	委員	一般公募
内山 明治	委員	一般公募
丸嶋 輝夫	委員	一般公募
横堀 明子	委員	一般公募

【任期2年：平成29年4月1日～平成31年3月31日】

2. 茂原市男女共同参画計画（第3次）の評価の方法

「茂原市男女共同参画計画（第3次）」では、男女共同参画を推進するため、市が取り組むべき事業として60事業を掲げ、50事業について指標（数値目標）を設けています。基本計画の進捗状況の評価にあたっては、まず事業担当課による自己評価（1次評価）及び庁内組織の「男女共同参画社会づくり推進委員会」による2次評価を行い、続いて全事業のうちから抽出された重点評価事業について、外部組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会」が3次評価を行い、「平成29年度事業評価報告書」としてまとめました。

①評価の方法

評価者	判定区分
<p>1次評価 【各事業担当課】 茂原市男女共同参画計画（第3次）に掲げられた事業について、「事業評価シート」により <u>1次評価（自己評価）</u> を実施</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>【項目評価基準】 4：十分達成している（90%以上） 3：概ね達成されている（70%以上） 2：達成が半ばであり改善を要する（50%以上） 1：不十分である（50%未満）</p>
<p>2次評価 【茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会】 （市役所内組織） 全事業について、事業担当課から提出されたシートにより <u>2次評価</u> を実施</p> <p style="text-align: center;">↓</p>	
<p>3次評価 【茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会】 （外部組織） 推進委員会の評価後、重点評価事業について、事業評価シートにより <u>3次評価（外部評価）</u> を実施 事業評価報告書を作成し、市へ提出</p>	<p>【総合評価基準】 A：十分な成果を上げた（達成度8割以上） B：ある程度の成果を上げた（達成度4割～7割） C：事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）</p>

3. 事業評価スケジュール

- ◆第1回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（平成30年5月22日開催）
 - ・委員長、副委員長の選出
 - ・茂原市における男女共同参画の取り組みについての研修
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第2回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（平成30年6月27日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第3回 茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会（平成30年8月22日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第1回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成30年10月25日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第2回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成30年11月7日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第3回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成30年11月22日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第4回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成30年12月6日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第5回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成30年12月19日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆第6回 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会（平成31年1月24日開催）
 - ・平成29年度事業評価

- ◆茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会から市長へ「平成29年度 事業評価報告書」を提出（平成31年2月18日）

4. 茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会からの要望・提言

(1) 事業評価結果について

平成29年度事業評価結果については、公表するとともに、各事業担当課において施策の見直しや方向性について協議・検討を行い、次年度以降の各課の事業実施に反映するようお願いします。

しかしながら、ほとんどの事業が例年どおりの取り組みにとどまり、積極的な事業実施が展開できていないように思われます。事業としては高く評価できても、そこに男女共同参画の視点が入っているかどうかというと、疑問が生じます。また、国・県等の施策に関する情報についても効果的な発信に努める必要があると考えます。

(2) 茂原市におけるさらなる男女共同参画の推進について

市役所内組織である「茂原市男女共同参画社会づくり推進委員会」委員への研修の実施及び委員による事業評価は、職員の男女共同参画に関する意識の向上につながっており、一定の評価ができます。

「男性も女性もお互いを尊重し合い、一人ひとりが性別にかかわらず責任と喜びを分かち合う『男女共同参画社会の実現』は、我が国における最重要課題の一つ」です。男女共同参画社会は、男として女としてだけではなく、人としてこの社会をどう生きていくか、人権を尊重し、国際化社会にも対応していく、すべての生き方の基本です。この意識を理解することが重要なのです。

学校教育、生涯学習、ボランティア活動等、それらに市民としてどう関わるか、市民自らも行動し、行政と協力していく、それが「まちづくり」に繋がります。男女共同参画はすべての基本です。市民の意識を変えていき、協働して推進していくことを望みます。

(3) 男女共同参画推進室の設置について

少子高齢化が加速する中、茂原市の「まちづくり」においても、人口減少問題への対応、子育て支援等への取り組み、幼少期からの人権教育等に男女共同参画の視点は必要不可欠です。「男女共同参画推進室」を中心に、各課の関連する問題を繋げることにより、解決できることが増えると考えられます。

より一層推進するため、職員体制を充実し、「男女共同参画推進室」を設置することについて引き続き検討していただくことを要望します。

平成29年度事業一覧

評価指標 **A:**十分な成果を上げた（達成度8割以上）
B:ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）
C:事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）

事業No.	事業名（具体的取り組み）	担当課	重点評価事業	基本目標	主要課題	施策の方向	1次評価	2次評価	3次評価
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	A
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	B	B	B
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	B	A	B
3	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	職員課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(1)人権を守るための社会づくり	A	A	B
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	B	B	B
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課	○	I 人権の尊重	I-1 人権尊重意識の啓発	I-1(2)相談体制の拡充	A	A	A
6	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	A	A	A
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	C	B	B
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	B
9	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	企画政策課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(1)男女平等意識啓発の推進	B	B	B
10	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	生涯学習課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	A	A	B
11	地域活動における男女共同参画の促進	生活課	○	I 人権の尊重	I-2 男女平等の意識づくり	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進	B	B	B
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	子育て支援課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	A	B
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	学校教育課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	B
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	子育て支援課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	B	B
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	学校教育課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	B
14	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	学校教育課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	A	A	A
15	学校における国際理解教育の推進	学校教育課	○	I 人権の尊重	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進	B	A	B
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	企画政策課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	B	
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	生活課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	
16	DVに関する相談窓口等の充実と周知徹底	子育て支援課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
17	相談員のDV等に関する相談技術の向上	子育て支援課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
18	DV防止に関する意識啓発	企画政策課		II あらゆる暴力の根絶	II-1 暴力の防止と被害者支援の充実	II-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	

18	DV防止に関する意識啓発	子育て支援課		Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	B	A	
19	障害者（児）の虐待防止	障害福祉課		Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進	A	A	
20	DV対策について関係機関との連携の強化	子育て支援課		Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	
21	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	国保年金課		Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	
22	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	市民課		Ⅱ あらゆる暴力の根絶	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実	A	A	
23	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	企画政策課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
24	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	秘書広報課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	
25	市女性職員の登用の推進	職員課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	B	B	
26	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	職員課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進	A	A	
27	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み（ポジティブ・アクション）の促進	商工観光課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	B	B	
28	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	商工観光課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進	B	B	
29	国際的視野に立った男女共同参画の推進	企画政策課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	
30	環境保全における男女共同参画の促進	環境保全課		Ⅲ 様々な分野における男女共同参画	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進	A	A	
31	父親の子育てに関する学習機会の提供	生涯学習課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
32	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	健康管理課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	B	A	
33	男性の家庭参画を促す講座等の実施	東部台文化会館		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	B	
34	乳幼児相談・検診事業の充実	健康管理課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進	A	A	
35	子ども・子育て支援事業計画 の推進	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
36	子育て支援に関する情報提供	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
37	子育てに関する相談業務の充実	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
38	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	A	
39	放課後等の子どもの居場所づくり	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
39	放課後等の子どもの居場所づくり	生涯学習課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	子育て支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	B	B	
40	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	学校教育課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実	A	A	
41	高齢者の総合相談窓口の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	A	A	

42	認知症高齢者と家族等への支援の充実	高齢者支援課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画	Ⅳ-1(3)介護支援の充実	C	C	/
43	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	企画政策課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	/
44	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	商工観光課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	/
45	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	職員課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透	B	B	/
46	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	農政課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	A	A	/
47	農業における家族経営協定締結の促進	農政課		Ⅳ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進	Ⅳ-2 労働場における男女共同参画	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進	A	A	/
48	高齢者の自主活動への支援	高齢者支援課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	/
49	障害者（児）の地域生活支援の充実	障害福祉課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	/
50	障害者（児）の相談事業の充実および社会復帰の促進	障害福祉課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	A	A	/
51	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(1)高齢者・障害者施策の充実	B	B	/
52	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	総務課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	/
53	自主防災組織の育成	総務課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	B	B	/
54	地域防犯体制の充実	生活課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	/
54	地域防犯体制の充実	学校教育課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-1 安心して活動できる環境の整備	Ⅴ-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進	A	A	/
55	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	B	B	/
56	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
57	市民参加の健康づくりの推進	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
58	スポーツを通じての健康増進	体育課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(1)生涯を通じた健康支援	A	A	/
59	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	/
60	安心して妊娠・出産するための支援	健康管理課		Ⅴ 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり	Ⅴ-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備	Ⅴ-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり	A	A	/

	1次評価	2次評価	3次評価
A 十分な成果をあげた（達成度8割以上）	37	45	4
B ある程度の成果をあげた（達成度4割～7割）	30	23	14
C 事業の対象や見直しが必要（達成度3割以下）	2	1	0

平成29年度重点評価事業

事業 No.	事業名（具体的取り組み）	担当課
1	人権に関する教育および意識啓発の推進	生活課
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	企画政策課
2	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	商工観光課
3	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	職員課
4	市民相談・人権相談に対する適切な対応	生活課
5	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	学校教育課
6	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	企画政策課
7	男女共同参画に関する意識啓発	企画政策課
8	男女共同参画に関する市職員研修の実施	職員課
9	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	企画政策課
10	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	生涯学習課
11	地域活動における男女共同参画の促進	生活課
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	子育て支援課
12	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	学校教育課
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	子育て支援課
13	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	学校教育課
14	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	学校教育課
15	学校における国際理解教育の推進	学校教育課

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	1	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権に関する教育および意識啓発の推進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	子どもたちに、思いやりの大切さやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き人権教室や人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	人権擁護委員による街頭啓発活動を行うとともに、小学校において人権教室を開催し、他人への思いやりやいたわりの大切さなどを伝える。また、小・中学生には人権に関する作品づくりを通じ豊かな人権感覚を身に付けてもらうとともに、児童生徒の作品展示を通して市民の人権尊重意識の啓発に努める。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み
	①市内小学校における人権教室の実施。 ②小中学校への人権ポスター原画・人権作文の依頼。 ③夏期学童クラブへの人権「紙芝居」の実施。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①人権教室:VTRを視聴後の話し合い形式による授業を実施 9/19(火)二宮小学校(参加42人:1年生25人、5年生17人)、10/20(金)茂原小学校(参加113人:1年生56人、5年生57人)、12/6(水)東郷小学校(参加169人:1年生83人、5年生86人) ②人権紙芝居:「ぼくのきもち、きみのきもち」他の実演 8/2(水)東郷第一学童クラブ(参加25人)、東郷第二学童クラブ(参加33人)、8/4(金)茂原夏期学童クラブ(参加19人)、二宮学童クラブ(参加33人)、8/7(月)豊岡学童クラブ(参加10人)、8/1(火)・29(火)東茂原学童クラブ(参加43・55人)、8/10(木)せんだん学童クラブ(参加27人)

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 人権擁護委員が直接小学校に出向き、子どもたちに啓発ビデオや紙芝居をとおして、他人への思いやりやいたわりの大切さを伝えることができた。 (課題・問題点) 子どもたちが、人権問題について理解しやすい内容となる工夫が必要である。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 計画通り実施されている。また、人権教室については、昨年の課題であった複数校実施が行われている。 (課題・問題点) 引き続き取り組まれない。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	子どもたちに思いやりの大切さやいたわりの大切さを伝えるため、引き続き人権教室や人権紙芝居を実施し、人権尊重意識の教育や啓発に努める。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	計画通りに実施されている。数値目標を定めて取り組んだ方が、成果が分かりやすい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園、保育園、中学校での実施や、行政職員、議員、市民に対する啓発活動の実施についての記載がない。ポスターや作文についての報告もないので、記載していただきたい。 ・人権教室等の実施効果の検証が不十分。 ・人権擁護委員及び生活課と、教育委員会の間で話し合いの場を設けられたい。 ・今後、思いやりやいたわりの大切さに加え、他者理解を深めることも取り入れたらどうか。 ・子どもたちの感想等も記載していただきたい。人権教室の中だけで終わらせず、教室以外でも、日常的にフォローアップする取組が必要。 ・全小学校で年1回の開催ができないか検討されたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	2(企)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	企画政策課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	市ホームページにセクハラ防止についての総合サイトを作成するなど、さらなる情報提供に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センターなどの相談窓口について、情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み
	①セクハラ防止や相談窓口に関する情報について、市ホームページに掲載し、情報提供に努める。 ②セクハラ防止について、関係機関のパンフレット等の配布や、講座・研修等について幅広い周知に努める。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①市ホームページ内の「女性のためのポータルサイト」の内容を更新し、情報提供に努めた。 ②関係機関のパンフレットやチラシについて、窓口や情報公開コーナー等に設置するとともに、男女共同参画に関する会議・行事にて配布を行った。(男女共同参画社会づくり推進協議会、ハートフルフェスタ実行委員会、ハートフルフェスタ(講演会))

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) パンフレット等の配布、市ホームページでの情報提供を計画通りに行った。 (課題・問題点) 茂原商工会議所等の関係機関や市内事業所に、具体的にセクハラ防止の要請を市から働きかけることは難しい。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) パンフレット等の配布や市ホームページで周知していることは評価するが、「女性のためのポータルサイト」については認知度が低いように思われる。 (課題・問題点) パンフレットやホームページだけでなく、フェイスブックなどほかの媒体も利用し、周知されたい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	引き続き、パンフレット等の配布や市ホームページ、講座等で情報提供に努める。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	計画通りに実施されているが、企業や市役所内・議会等に対しても周知していく必要がある。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所と連携を取りながら、市内事業所や企業に市の男女共同参画の計画(取り組み)を周知しながら、パンフレット等の配布を検討されたい。 ・市内の各事業所に、男女共同参画推進担当者を設置する等、指導すべき。 ・商工会議所や事業所等の上からの働きかけが難しいのであれば、働く人個々人に働きかければ、理解ある人が集まってくると思う。 ・「女性のためのポータルサイト」はアクセスしづらく、結局どこに相談すればいいのかわからない。1回ですぐに繋がるように工夫していただきたい。また、サイトのアクセス数等、利用状況を調べて記載していただきたい。 ・男女共同参画社会づくりに賛同する企業を「賛同会員」として登録し、登録した企業に対し、啓発チラシやセミナー等についての情報を発信する等の制度を設けてはどうか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	2(商)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	職場におけるセクハラ・パワハラ等防止の促進	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	商工観光課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	商工会議所、ハローワーク茂原等の関係機関との連携を強化し、新たな意識啓発の手法の拡大及び機会の創出を図る。公式HP上での国・県等の施策に関する情報提供を、見やすく利用しやすいものとし、効果的に発信する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	職場におけるセクハラ等防止について茂原商工会議所等の関係機関に要請するとともに、千葉労働局雇用環境・均等室や千葉県男女共同参画センターなどの相談窓口について情報提供を行う。また、市内事業所に対し、セクハラ等防止のための講座・研修等への参加を促進する。		

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<p>①茂原商工会議所が開催する会議等の機会を利用し、セクハラ防止に係るパンフレットを配布した。また、ハローワーク茂原と市が共催する若手職員を対象としたセミナーや、新規学校卒業予定者求人手続き等説明会において、セクハラ・パワハラに関する基本的な知識の習得に努めた。</p> <p>②市の公式HPへの掲載やパンフレットの設置により、国・県等の取組みや相談窓口などの周知を図った。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)		<p>(評価の根拠) 例年どおりの取組みにとどまり、積極的な事業実施が展開できていない。また、国・県等の施策に関する情報についても、効果的な発信に努める必要がある。</p> <p>(課題・問題点) 平成28年4月に千葉労働局内に「雇用環境・均等室」が設置されたことから、効果的な連携環境を整備し、本市における施策の推進を目指す必要がある。</p>	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		<p>(評価の根拠) 例年通りの取り組みだが、計画通り実施されている。</p> <p>(課題・問題点) さらなる事業の推進および効果的な情報発信に努められたい。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	千葉労働局、商工会議所、ハローワーク茂原等の関係機関との連携を強化し、さらなる意識啓発に努める。また、国・県等の取組みに関する情報を、公式HP上で効果的に発信する。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	計画通りに実施されているが、例年通りの取り組みにとどまっている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、千葉労働局、ハローワーク等と連携されたし。 ・若手職員や新規学校卒業予定者を対象とした取り組みはよいことだが、指導的立場にある方々や経営者への働きかけもされたし。 ・セミナー等の参加者数や次年度にむけた具体的な改善策等を記載していただきたい。 ・情報発信の内容を文章のみではなく、Youtubeなどで映像発信してみてもどうか。 ・男女共同参画社会づくりに賛同する企業を「賛同会員」として登録し、登録した企業に対し、啓発チラシやセミナー等についての情報を発信する等の制度を設けてはどうか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	3	基本目標	I 人権の尊重
事業名	人権を守るための職員研修の実施および職員の研修参加機会の確保	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	職員課	施策の方向	I-1(1)人権を守るための社会づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	実情にあったテーマを取り上げ、職員の人権問題に対する意識啓発する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	あらゆる人権問題について、職員の人権意識の高揚を図る研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。		
	H29予算額	255	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	3	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①人権問題に関する内容をテーマとした階層別職員研修を実施する。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①全職員を対象とした特別研修を実施。参加者:(基本編)33名(応用編)20名 講師:健康管理課職員 内容:H29.9.27/H30.1.31「ゲートキーパー(命の門番)養成講座(基本編)(応用編)」 ②全職員を対象とした特別研修を実施。参加者:42名 講師:千葉県健康福祉部障害福祉推進課職員 内容:H30.1.19「障害を理由とする差別の解消の推進について」 ③フォローアップ研修 内容:H29.10.6「ハラスメント研修」 参加者:新採職員21名 講師:職員課職員 ④自治研修センターが実施する研修に参加 内容:H30.1.17「ハラスメント防止研修」 参加者:職員課職員		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(1)市職員を対象とした人権に関する研修の実施・参加 5回以上(年1回以上) 成果: 年4回		年1回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 悩みを抱えている人に気づき、話を聞き、見守ることで自殺予防につながるゲートキーパーになるための基本編、窓口での具体的事例を取り入れて実践的な自殺対策の内容を学ぶ応用編で、職員の理解と関心を深めることができた。障害を理由とする差別の解消の推進についての特別研修では、関係法律について理解を深め、障害者に対する適切な対応をするための意識改革を図った。 (課題・問題点) さらに広い階層の職員に研修へ参加する機会を設ける。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 引き続き、幅広い階層の職員が参加できる機会を設けられたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	実情にあったテーマを取り上げ、職員の人権問題に対する意識啓発をする。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標は達成しているが、階層別職員研修の実施の有無が不透明である。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員向けだけでなく、管理職等指導的立場にある職員向けの研修についても実施していただきたい。 ・「人権意識の高揚を図る」という目的や、男女共同参画社会の推進に適った内容の研修を実施していただきたい。 ・業務が忙しく、研修の実施・参加が難しい場合は、OJTとして日頃の仕事の中で推進していくシステムを作っていくべき。 ・フォローアップは確実に進めていただきたい。 ・数値目標の年1回がそもそも少ないのではないか。見直しが必要。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	4	基本目標	I 人権の尊重
事業名	市民相談・人権相談に対する適切な対応	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	生活課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の人権相談所の更なる周知・啓発に努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	市民から寄せられる相談は、年々増加するとともにその内容も複雑多様化していることから、人権相談をはじめとする各種相談について、関係各課及び国・県とも連携を図りながら、より迅速かつ適切に相談内容の解決に向けた取り組みの強化に努める。		

H29予算額	1,160	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	1,160	H30予算額	1,151

P L A N (計画)	H29年度の具体的な取り組み		
	①地域住民に利用しやすい人権相談所の開設と周知。 ②関係部署と連携し相談窓口の充実を図る。 ③相談員や担当職員の資質向上のため研修等に積極的に参加し相談業務の充実を図る。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①人権相談所の開設(市役所12回、本納公民館12回) ②広報への掲載(相談日案内13回、特設人権週間1回、女性の人権ホットライン1回) ③研修等の実施(茂原人権擁護委員協議会主催の定期総会(5月)、第2部会(6月)、全委員研修会(11月)、合同部会(2月))		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 人権擁護委員や担当職員が、積極的に会議や研修会に参加し、相談業務の充実に努めた。また、相談窓口等の案内を定期的に広報に掲載し、周知を図った。 (課題・問題点) 地域住民にとって利用しやすく、かつ、相談件数の増加につながるような人権相談所の開設について工夫する必要がある。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 積極的な人権相談所の開設が行われている。 (課題・問題点) 人権相談所の開設と対象について、さらなる周知・啓発に努められたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	毎日実施している市民相談に加え、人権擁護委員による月2回の人権相談所の更なる周知・啓発に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	計画通り実施されている。さらなる周知・啓発に努められたい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・人権相談という言葉は漠然としているので、具体例を挙げて情報発信をしたほうが理解してもらえるのではないかと。 ・開催場所が2か所だが、駅前や図書館などもう1か所あっても良いのではないかと。 ・どのように周知・啓発していくのか具体策を示していただきたい。 ・関係部署と連携し、窓口を充実していただきたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	5	基本目標	I 人権の尊重
事業名	児童生徒の悩みに対する相談体制の充実	主要課題	I-1 人権尊重意識の啓発
課係名	学校教育課	施策の方向	I-1(2)相談体制の拡充

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	スクールカウンセラーについて、各中学校の生徒の状況に応じた配置及び小学校における配置校の増を県に要望し、男女共同参画を踏まえた相談体制の充実を図る。心の教室相談員は、現状の相談体制で効果を上げているが、さらに相談員間の情報交換等により、対応の共通理解を図るなどして、充実を図りたい。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	スクールカウンセラー(県事業)や心の教室相談員の配置により、学校内における児童・生徒の悩みに対する相談体制について、男女共同参画の視点に配慮しながら整備充実を図る。また、中学校は、学校の状況と要望をふまえながら、毎年連続して同性のカウンセラーとならないように努める。		

H29予算額	927	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	916	H30予算額	916

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①スクールカウンセラーの配置(全中学校7校・小学校3校(東郷小・茂原小・五郷小))【県事業】 ②心の教室相談員の配置(小学校4校(豊田小・中の島小・萩原小・東部小))		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(2) スクールカウンセラー配置校 目標:10校 成果:10校 ・小学校における相談件数12月末116件(H28末117件)3校【東郷小・茂原小・五郷小】 ・中学校における相談件数12月末1,117件(H28末1,076件)7校【全中学校】 (3) 心の教室相談員配置校 目標:4校 成果:4校 相談件数486件(H28年末1,770人に対応)		(2) 中学7校 小学3校 (3) 小学4校

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 女性のカウンセラーは中学校7校中5校、小学校は3校とも女性のカウンセラーであり、中学校の2校のみが男性のカウンセラーである。小学校3校と全中学校にカウンセラーを配置しており、児童生徒との人間関係も良好で成果を上げている。心の教育相談員は4校とも女性で、豊富な経験や教員との良好な人間関係のもと、児童の発達段階に応じた相談を行っている。 (課題・問題点) 各学校の規模や状況に応じた配置及び増員が必要である。	

推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) スクールカウンセラーおよび心の教室相談員ともに、予定していた配置数を達成している。 (課題・問題点) 引き続き、全学校への配置を目標としてほしい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	スクールカウンセラーについて、各中学校の生徒の状況に応じた配置及び小学校における配置校の増を県に要望し、男女共同参画を踏まえた相談体制の充実を図る。心の教育相談員は、現状の相談体制で効果を上げているが、更に相談員間の情報交換等により、対応の共通理解を図るなどして、充実を図りたい。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	4	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	計画通り実施されている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの最後の砦であるので、全学校に相談員またはカウンセラーを配置していただきたい。 ・相談員またはカウンセラーは常駐していただきたい。せめて週1～2回はいていただきたい。 ・相談件数だけでなく、そのうち問題が解決した件数も示していただきたい。 ・色々な支援体制があるので、庁内連携の見直しをしていただきたい。 ・教師や校長先生には相談内容を漏らさないようだが、相談内容の傾向は共有するべき。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	6	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する講演会や講座などの開催	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	講演会開催にあたって、幅広い年代に参加してもらうよう工夫し、引き続き意識啓発に努める。また、年代別・テーマ別の講座を企画するなどして、男女共同参画の具体的な実践方法を学ぶことのできる機会を提供する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女共同参画に関する意識啓発、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進などをテーマとした講演会や講座等を開催するとともに、県や関係各課との連携を図り、市民に対する意識啓発を図る。講演会や講座の開催にあたっては、開催日時やテーマ・託児などに配慮し、幅広い年代の、より多くの方に参加していただけるよう努める。		

H29予算額	51	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	51	H30予算額	71

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①茂原市ハートフルフェスタを開催し、男女共同参画の意識啓発に努める。(土日開催、託児を実施する) ②毎月コスモスサロンを開催する。 ③年に1~2回、市民主導の企画による講座を開催する。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①ハートフルフェスタについては、年2回開催(予定) ・2/27(土)開催 演題『老いの旅路』、講師坂下晴美氏、参加人数158名(男:女=28名:125名)、託児申込なし ・3/24(土)開催予定 講題『信頼関係を築くコミュニケーションのコツ』、講師内田智代氏、 ②コスモスサロンについては、毎月第4月曜日に開催(年10回:4・5月は開催せず) 1回あたり参加人数平均14名(男:女=4名:10名) ③コスモスサロンの一環として、DVD上映会を開催(上映作品『私は男女平等を憲法に書いた』) 8/28(月)開催 参加人数37名(男:女=31名:6名) ④11/10(金)開催 演題『働き方改革と男女共同参画』、講師萩原なつ子氏 参加人数44名(男:女=14名:30名)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(4) 講演会・講座等の開催回数 5回以上(年1回以上) 成果:年4回 (5) 参加者数 500人以上(年100人以上) 成果:239人		年2回 年200人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 講演会・講座等の開催回数及び参加者数について、数値目標を上回った。4回の開催において、テーマ及び対象を働く世代~シニア世代それぞれ設定し、また、平日・土日両方の開催や無料託児等、幅広い年代に参加してもらうよう工夫をした。 (課題・問題点) いずれの行事でも、女性参加者数に対し男性参加者数が少ない。また、年代としてもシニア世代の参加者が大多数を占める。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 男性参加者が少ないので、テーマや開催日時等を工夫されたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	幅広い年代に参加してもらうよう、テーマや開催日時等を工夫し、意識啓発に努める。例年、女性やシニア世代の参加が多い企画が中心となっているので、来年度は男性・子育て世代・若年層等を対象にした企画にも取り組む。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	4	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	数値目標を達成している。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代にも興味を持ってもらえるような情報発信をしてもらいたい。 ・内容自体がシニア向け、参加者もシニアが多数というのがこれからも問題。働く世代や子育て世代も参加できる企画をこれからも考えてほしい。 ・男女共同参画表現ガイドラインが、男性を参加させる方法としての切り口になるのではないか。 ・男性は防災・まちづくりの関心が高いので、防災対策室との共催でも良いのではないか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	7	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する意識啓発	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	意識啓発リーフレット等の作成を茂原市ハートフルフェスタ実行委員会委員とともに行い、成果を公表する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	男女共同参画に関する意識啓発のため、わかりやすく手にとっていただけるような情報紙やパンフレット等を作成し、あらゆる機会に配布するとともに、広報・ホームページ等を活用して定期的な情報発信に努める。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①ハートフルフェスタ実行委員会の取り組みについて紹介するため、広報やホームページ、自治会回覧を活用して周知する。 ②その他、男女共同参画に関するリーフレット等を作成し、意識啓発に努める。		
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①ハートフルフェスタ実行委員会の取り組みについて紹介するチラシを作成し、広報やホームページに掲載したほか、自治会回覧や講演会等で配布した。また、企画政策課カウンターや情報公開コーナーに設置及び配布を行い、参加を促した。 ②実施できていない。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(6) 意識啓発リーフレット等の作成・配布枚数 30,000部(年6,000部) 成果: 年5回、13,500部(自治会回覧5回)		年2回 (6,000部)
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ハートフルフェスタ実行委員会のチラシを広報やホームページに掲載したほか自治会回覧で配布したことにより、行事への問い合わせや参加者が増加した。 (課題・問題点) より幅広い年代・性別に情報が行き渡るように工夫する必要がある。意識啓発リーフレットの作成には至っていない。	
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標は達成しているが、意識啓発リーフレットの作成に至っていない。 (課題・問題点) より幅広い年代・性別に情報が行き渡るように工夫する必要がある。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
A C T (改善)	引き続き、ハートフルフェスタ実行委員会の取り組み、各種講座・講演会やコスモスサロンの開催について幅広い周知に努める。また、より幅広い年代・性別に情報が行き渡るように工夫した情報発信に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標は達成しているが、意識啓発リーフレットの作成に至っていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の場面で男女共同参画を深めていくために、男女共同参画について分かりやすいリーフレット等を作り、検診時に配布されるブックスタートの中に入れてみてはどうか。 ・リーフレット作成については、県と同じような内容のリーフレットではなく、茂原にとって必要とされる独自の内容のものを検討していただきたい。 ・幅広い世代に情報が行き渡るように、防災・子育て・保健センター等と連携して取り組んでいただきたい。 ・男女共同参画表現ガイドライン中、家庭・子育ての部分だけをブックスタート配布時に一緒に入れてもらってはどうか。 ・リーフレット等を情報公開コーナーや企画政策課カウンターだけでなく、生活課カウンターや市民課のテレビ前にも置いて情報提供してほしい。 ・参加した人の感想などを記事に載せてみてはどうか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	8	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画に関する市職員研修の実施	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	職員課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	幅広い年齢層の職員に対して引き続き実施し、更に充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	階層別職員研修のテーマに取り入れて男女共同参画の意識の啓発と理解の充実を図る。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み
	①幅広い年齢層の職員に対して、男女共同参画の意識啓発を推進する研修を行う。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①新規採用職員研修において、男女共同参画研修を実施。参加者:21名 内容:H29.4.19「男女共同参画について」講師:企画政策課職員

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標
	(7)市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果:年1回	年1回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 新規採用職員に対し研修を実施することで、茂原市の男女共同参画計画の理解及び男女共同参画の意識啓発を推進することができた。 (課題・問題点) 実情にあったテーマで広い階層の職員が参加できる研修を計画する。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 年1回の数値目標は達成しているが、新規採用職員のための研修実施となっている。 (課題・問題点) 幅広い年齢層を対象とした研修の実施を検討されたい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	幅広い年齢層の職員に対して引き続き実施し、更に充実を図る。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	2	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標は達成しており、担当課の自己評価は適切に行われているが、幅広い階層の職員に対して研修が実施されていない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代は比較的「男女共同参画」を意識していると思われるので、50代以上の職員を対象とした研修を実施していただきたい。 ・研修に欠席した職員(特に保育所関係)に対しても、研修内容を流していただきたい。 ・5分間でもペーパーでもいいので、他の研修の中においても「男女共同参画」について組み込んでいただきたい。 ・改善策が示されていない。どのように実施していくのか具体的に記載していただきたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	9	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女共同参画の視点による表現ガイドラインの周知	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	企画政策課	施策の方向	I-2(1)男女平等意識啓発の推進

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

男女共同参画に係る会議時など、あらゆる機会を通じてガイドラインの説明を行い、より多くの職員に周知する。

PLAN (計画) 事業の概要

市の刊行物にとどまらず、すべての表現(文章・写真・イラスト等)において男女共同参画の視点によるガイドラインを遵守するよう、周知に努めます。また、内容についても、適宜見直しを図る。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

H29年度の具体的取り組み

- ①新規採用職員研修時にガイドラインについて説明し、男女共同参画に関する理解を深めてもらう。
- ②男女共同参画社会づくり推進委員にガイドラインについて説明し、理解を深めてもらう。
- ③職員が常時参照できるよう庁内のシステムに登録し、利用の促進を図る。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①新規採用職員研修時にガイドラインについて説明した。
- ②男女共同参画社会づくり推進委員にガイドラインについて説明した。
- ③職員が常時参照できるよう庁内のシステムに登録した。

CHECK (評価) 数値目標とその成果 H29数値目標

(8) 表現ガイドラインに関する研修の実施 5回以上(年1回以上) 成果:2回 年2回

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割) (評価の根拠) 計画通りに実施した。
(課題・問題点) 表現ガイドラインはH22年に作成されたので、情報の更新が必要。

推進委員会による2次評価とその理由

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割) (評価の根拠) 数値目標は達成しているが、対象者が新規採用職員と庁内推進委員であり限定されている。
(課題・問題点) 表現ガイドラインの理解を深めるため、周知方法を検討されたい。

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

引き続き、あらゆる機会を通じてガイドラインの説明を行い、より多くの職員に周知する。他自治体や関係機関の表現ガイドラインを参考に、茂原市の表現ガイドラインを更新する。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標は達成しているが、対象者が新規採用職員と庁内推進委員に限定されている。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの情報更新が必要。他自治体のガイドラインを参考にしてみてもどうか。 ・更新の際には、庁内推進委員および推進協議会の委員にも意見を聞いていただきたい。 ・ガイドライン冊子は庁内だけでなく、一部を抜粋するなどして市民向けにもできないか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	10	基本目標	I 人権の尊重
事業名	男女平等意識を育むための家庭教育学級の開催	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	生涯学習課	施策の方向	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、保護者への学習機会を提供し、また、男女平等意識の高揚にも努める。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	集団学習の場を通して、家庭教育に対する家庭や地域の関心を高めるため、3歳児・就学前児童・幼稚園・小学校の保護者等を対象に、講演会・講習会・研修視察を開催し、男女平等の意識高揚を図る。		
	H29予算額	614	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	501	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	① 5回 41人 (男性 1人、女性 40人) ② 14回 633人 (男性 25人、女性 608人) ③ 67回 2,416人 (男性 528人、女性 1,888人)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(9) 家庭教育学級の開催 目標:375回(年75回) 成果:86回		年 75回
	(10) 家庭教育学級の参加者 目標:延べ14,000人以上(年2,800人以上) 成果:年 3,090人		年2,800人
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催回数、参加者数が数値目標を上回ったため。		
	(課題・問題点) 幼児期家庭教育学級の参加者が少なかった。		
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催回数、参加者数の数値目標を達成している。		
	(課題・問題点) 幼児期家庭教育学級の参加者が少ないので、参加者が増加するよう工夫されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	幼児期家庭教育学級の対象者を拡大することにより、参加者の増加を図る。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	計画通り実施されている。具体的な取り組み内容が分からないため、評価が数値に関することだけになってしまう。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点をどう入れていくかが課題。幼児家庭教育学級がさらに充実するように工夫されたい。 ・何を実施したのか、それが男女共同参画にどう結びつくのか具体的に記載していただきたい。 ・ACT(改善)の「対象者を拡大する」とはどこまで拡大するのか。 ・どのような内容で開催するのかを具体的に発信すると、男性も参加しやすいのではないかな。 ・幼児期家庭教育学級は豊田福祉センターだけでなく、他の場所でも開催できないか検討されたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	11	基本目標	I 人権の尊重
事業名	地域活動における男女共同参画の促進	主要課題	I-2 男女平等の意識づくり
課係名	生活課	施策の方向	I-2(2)地域・家庭・職場における男女平等意識啓発の推進

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

講演会や講座を開催することにより、引き続き自治会活動や市民活動への理解を深め、性別を問わずより多くの市民が参加できるよう啓発を図るとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

PLAN (計画) 事業の概要

自治会長連合会や社会福祉協議会と連携し、男女が共に地域活動に参画することの意義について理解を深めるようあらゆる機会を通じて意識啓発を図る。

H29予算額	1,585	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	1,578	H30予算額	1,579

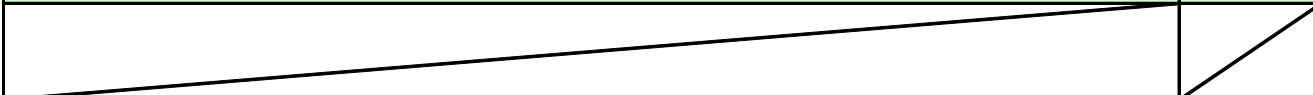
PLAN (計画) H29年度の具体的取り組み

男女が共に自治会活動や地域でのボランティア活動に参加できるよう、会議の場などにおいて男女共同参画について周知する。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ・自治会長連合会主催により、社会医療法人社団正朋会 宍倉病院理事長 宍倉 朋胤氏を講師に招き、「災害時における医療救護について」と題した講演会を開催した。【参加者71名、うち女性6名】
- ・地域まちづくり協議会設立支援講座(連続講座・全3回)を開催し、地域まちづくり協議会の設立機運の醸成に努めた。

CHECK (評価) 数値目標とその成果



CHECK (評価) 担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)

(評価の根拠) 講演会や講座の開催により、男女がともに自治会活動をはじめとする地域におけるまちづくりに参加できるよう、意識啓発に努めた。

(課題・問題点) 以前に比べて、男女がともに自治会活動をはじめとする地域におけるまちづくりに取り組む傾向にあるが、依然として意思決定過程における男女共同参画が進んでおらず、主導的立場の女性が少ないのが実情である。

CHECK (評価) 推進委員会による2次評価とその理由

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)

(評価の根拠) 意思決定過程において、男女差が見られるが、講演会や講座の開催により周知を図っている。

(課題・問題点) 主導的立場の女性が少なく、意思決定過程における男女共同参画がなかなか進まない現状だが、引き続き意識啓発に努められたい。

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

講演会や講座の開催により、引き続き、自治会活動をはじめとする地域におけるまちづくりへの理解を深め、性別を問わず、より多くの市民が参加できるよう意識啓発に努めるとともに、意思決定過程における男女共同参画の促進に努める。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	講演会や講座を開催し意識啓発に努めるなど、取り組みとしては評価できるが、男女共同参画がまだまだ進んでいない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会内で女性が参加しやすい雰囲気が作れるよう、自治会長を指導していただきたい。 ・各自治会で女性部を作るよう、自治会長連合会に提言してほしい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育をするよう努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	(保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
			0
H29年度の具体的取り組み			
①性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮する。			
②緊急的な保育や育児に伴う保護者の心理的・肉体的負担の軽減を図るため、市立朝日の森保育所において、一時保育を実施する。			
③生活発表会や運動会等の行事において、男性(父親)も参加できるよう保護者の希望を取り入れた工夫に配慮する。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①日常の保育や行事において、性別による固定的な役割分担や、性格、服装、色使い等において必要以上に男女の区別をしないよう配慮した。 ②朝日の森保育所 一時預かり保育利用人数101人(H30.2月末現在) ③運動会において、男性(父親)も参加できる種目を取り入れ、男女ともに子育てに参加できるよう努めた。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 日常の保育や行事において、保育所長等の指導のもと、幼少期より男女平等の意識を高める保育に努めた。 (課題・問題点)	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 日常の保育や行事に男女平等の意識を持ち、取り組まれた。 (課題・問題点) 引き続き取り組まれない。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、日常の保育や行事において、保育士が男女平等の意識に立った保育に努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	計画に基づいて実施されている。どうしたら保育士が男女平等の意識をもって保育および教育できるのか具体的に分からない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加した保育士が、その成果を現場で生かせるように指導されたい。 ・保育士間で男女平等意識にばらつきがあると思われるので、研修の機会を設けてはどうか。また、臨時職員はどれだけの教育を受けているのか。 ・昨年の改善策等の提言が参考にされていない。 ・保育士の労働環境を整備し、人材確保に努められたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	12(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	乳幼児・児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重・男女平等に関する保育・教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	若年層教員育成研修の充実をさらに図っていく。

P L A N (計画)	事業の概要	
	(保育所・幼稚園)乳幼児の保育や幼児教育において、男女平等の視点に配慮した保育及び教育を実施し、男女平等の意識を高める。 (小中学校)児童・生徒の発達段階に応じ、社会科、技術・家庭科等の教科や道徳、特別活動および総合的な学習の時間での教育活動などを通じて、男女平等の意識を高める教育等を実施する。	
	H29予算額	0
	H29決算見込額	0
	H30予算額	0
H29年度の具体的な取り組み		
①夏季研修会において、道徳教育の指導者を招聘し、授業実践及び評価に関する研修を行う。 ②豊かな人間関係づくりプログラムの実践について研修を実施する。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①若年層教員育成研修を年3回実施した。(初任者から経験7年目までの教員58名が参加) ②第2回の研修会では、道徳教育と豊かな人間関係プログラムについて、東上総教育事務所指導室の指導主事を招聘し研修を実施した。 ③第3回研修では、研修参加者が日頃授業や学級経営で工夫していることを持ち寄り、男女平等の意識を含め、個を大切にしている指導について研修した。

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 道徳や豊かな人間関係プログラムの研修では、参加者が指導者と児童生徒役に分かれ模擬授業を実施した。研修参加者が各学校に持ち帰って互いを尊重する態度の育成が図れるような研修となった。 (課題・問題点) 限られた研修回数であるので、内容の充実をさらに図っていく必要がある。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 研修が十分に実施されている。 (課題・問題点) 若年層だけでなく、幅広い年齢層の教員にも実施していただきたい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	若年層教員育成研修の充実を、夏季休業中の開催回を中心にさらに図っていく。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】
(a)立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している 【90%以上】
(b)担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている 【70%以上】
(c)課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する 【50%以上】
(d)適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である 【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	着実に進められている。若年層に限らず幅広い年齢層の教員にも実施していただきたい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容が男女共同参画の視点に立っているかどうか記載していただきたい。 ・夏期だけでなく他の期間にも実施できないか検討されたい。 ・豊かな人間関係づくりプログラムについての研修内容が、男女共同参画の視点に立ったものとなるよう意識して講師を選択されたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	13(子)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	子育て支援課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加させるよう努める。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	(保育所・幼稚園)保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額 0
H29年度の具体的取り組み			
①男女共同参画の視点に立った研修に保育士を積極的に参加させるよう努める。			
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①男女共同参画の視点に立った研修や講演会に参加した職員を通じて、各職場内(各保育所内)で意識の向上を図った。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(11) 保育所職員を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加 目標:5回以上(年1回以上) 成果:年1回		年1回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 男女共同参画に関する研修や講演会に参加した職員を通じて、各保育所内での意識の向上をある程度達成することができた。 (課題・問題点) 研修会等が平日開催される場合、保育士不足の現状では保育士の参加が困難となる。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 年1回の数値目標は達成している。 (課題・問題点) 一人でも多くの保育士が研修に参加できるよう工夫されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、男女共同参画の視点に立った研修に積極的に参加させるよう努める。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標は達成しているが、PLAN(計画)もDO(実施)も具体的な内容が分からないため、評価が難しい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・全保育所からどの程度が参加されているのか不明である。最低1名以上の参加を促し、全員のものとなるよう工夫していただきたい。 ・参加させるよう努めた、向上を図ったと書いているが、具体的にどのように取り組んだのか記載していただきたい。 ・研修に参加した職員から、他の職員に研修内容が伝わっているのか。 ・より多くの方が研修に参加できるよう工夫されたい。 ・保育士の労働環境を整備し、人材確保に努められたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	13(学)	基本目標	I 人権の尊重
事業名	教職員等に対する男女共同参画に関する研修の実施	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	市教育研究協議会の各部研修の充実をさらに図っていく。

P L A N (計画)	事業の概要	
	(保育所・幼稚園)保育所・幼稚園に勤務する職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施する。 (小中学校)児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植え付けることのないよう、男女共同参画に関する教職員の研修を実施するとともに、関係機関で実施される研修への参加を促進する。	
	H29予算額	0 H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0 H30予算額 0
H29年度の具体的取り組み		
①関係研修会に出席し、市教育研究協議会、校長研修、若年層教員育成研修等で指導する。 ②関係研修会に各学校からの出席を促し、校内での伝達講習を推進させる。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①市教育研究協議会:年間3回実施(17部会) パソコン部会→ITC教育部会、英語部会→英語・外国語部会へ ②校長研修会:年間9回実施(21名) ③教頭研修会:年間3回実施(22名) 他:特別支援教育関係研修を1回実施 ④教務主任研修会:年間3回実施(21名) 他:外国語科実施に向けたプロジェクトチーム会議3回実施 ⑤若年層教員育成研修:年間3回実施(58名)

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標
	(12) 教職員等を対象とした男女共同参画に関する研修の実施・参加 目標15回以上(年3回以上) 成果:3回	年3回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 研修の中で、個を大切にし、個に応じた指導を実施していく中で、男女共同参画の意識を高めることができた。 (課題・問題点) 研修の充実と、業務多忙化の解消とのバランスを図りながら、研修の計画を精選していく必要がある。
推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 研修が十分に実施されている。 (課題・問題点) 校内での伝達講習を推進されたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	市教育研究協議会の各部研修の充実をさらに図っていく。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	回数・参加人数は計画に基づき実行されているが、研修内容が分からないと評価が難しい。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の視点に立った研修が行われているのか、具体的な内容を記載していただきたい。 ・学校職員対象の研修は階層別に行っているが、幼稚園の職員に対しての取り組みを記載していただきたい。 ・参加の機会が与えられなかった教職員に対しての伝達講習を工夫されたい。 ・業務多忙化の解消とのバランスを図りながら実施していただきたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
- B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
- C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	14	基本目標	I 人権の尊重
事業名	個性を生かした性別にとらわれない進路指導の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

職場見学や体験学習等では、グループの構成に留意し、男女がお互いを認め協力する活動となるように計画的に進める。思春期教室の実施拡大と内容の充実を図る。

P L A N (計画) 事業の概要

学校教育全体を通じて、人権の尊重、男女の平等、相互理解・協力についての指導の充実を図るとともに、教科書などの教材においても適切な配慮がなされるよう留意する。また、自立の意識を育む教育、一人ひとりの個性や能力を尊重し、園児・児童生徒が主体的に学び、考え、行動する姿勢を育む教育を推進する。中学校においては、固定的な性別役割分担意識にとらわれずに、主体的に進路を選択できるような進路指導に努める。

H29予算額	4,201	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	4,180	H30予算額	4,201

H29年度の具体的取り組み

- ①小学校においては職場見学、中学校においては職場体験を中心にキャリア教育を行う。
- ②稲作体験や野菜作り、鯛ちょうちんや絵馬、野鳥観察などの体験活動を全小学校で充実させる。
- ③思春期の男女の発達についての理解の講話を行う。
- ④宿泊学習による体験活動を全中学校で実施する。

D O (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①小学校の職場見学は6年生を中心に9校(参加:447人)、中学校の職場体験は2年生を中心に4校(参加:288人)。ただし、他の学校は職業人を呼んで話を聞いたり、体験をさせたりしている。
- ②稲作体験は8校(参加:599人)で実施。それ以外に鯛ちょうちん・絵馬づくり等の体験的な学習を行っている。
- ③思春期教室は、小学校9校(参加:518人)、中学校5校(参加:563人)で実施している。
- ④宿泊学習による体験活動は、すべての小中学校で実施している。

C H E C K (評価) 数値目標とその成果 H29数値目標

--	--

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 体験活動を通して、キャリア形成に必要な自己理解と生き方について考え、男女平等意識に基づいた職業観を育成することができた。思春期教室では、命の尊さはもちろんのこと、性差を認めお互いを尊重する意識を育てることができた。 (課題・問題点) 稲作等の学校支援ボランティアの活用では、高齢化が進み、継続に支障をきたしている事例もある。職場見学や職場体験では、受け入れてくれる事業所の確保や児童生徒の移手段に課題があり、職業人を招いて講話や体験活動を行っているケースも増えている。思春期教室では、講師及び講師料の確保に努めていきたい。
-----------------------------	--

推進委員会による2次評価とその理由

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 学校ごとに様々な取り組みがなされており、工夫が認められる。 (課題・問題点) 引き続き取り組まれない。
-----------------------------	--

A C T (改善) 次年度における取り組み(予定)

職場見学や体験学習等では、グループの構成に留意し、男女がお互いを認め協力する活動となるように計画的に進める。思春期教室の実施拡大と内容の拡大を図る。

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	4	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	4	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか		1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
A	学校ごとに様々な取り組みがなされており、工夫が認められる。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・思春期教室は全小中学校で実施できるように検討されたい。 ・中学校の職場体験については、現場に行かないと分からないこともあるので、職業人を招くのではなく生徒が行ったほうが良いと思う。 ・職場見学や体験で受入事業所の確保が難しければ、職業人だけでなくとも親やおじいさんおばあさんなどの話を聞くのも良いのではないか。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	15	基本目標	I 人権の尊重
事業名	学校における国際理解教育の推進	主要課題	I-3 男女平等の視点に立った教育・学習の推進
課係名	学校教育課	施策の方向	I-3(1)保育所・幼稚園・学校における男女平等教育の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	海外派遣については、中学生28人、10日間での実施を継続する 小学校外国語活動の充実や小学校の英語の教科化等への対応について、引き続き対応をしていく。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	男女ともに学生のうちから国際理解教育を受け、姉妹都市ソルズベリー市をはじめとする各国との交流を通じ、今後世界に羽ばたける人材を育成する。また、学校において多様な言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーション能力の向上を図る。		
	H29予算額	3,700	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	3,700	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①中学生27人の参加があった。 ②前年同様事前研修を1回増やし、準備の充実を図った。 ③募集後、学校、市教委、業者合同の研修会を実施した。 ④ELT研修を月1回ペースで実施した。 ⑤小学校外国語科先行実施に向けた研修を3回実施した。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(13) 中学生海外派遣参加者数 目標:155人(年31人) 成果:30人(中学生27人+教員3人) (男:女=5:25)		年31人
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 海外派遣には中学生2年生、3年生27人が参加し、10日間の研修で、姉妹都市であるソルズベリー市の学校等での研修を通じ、国際理解の視点を広げることができた。各中学校では、文化祭等の学校行事で研修参加者が報告会を行うなど、研修成果を広める取り組みも実施された。 (課題・問題点) 小学校外国語科の実施に向け、さらに研修の充実等の準備を進めていく必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標はほぼ達成しているが、男性の参加者が少ない。 (課題・問題点) 「世界に羽ばたける人材」とはどのような人材をいうのか。男性の参加者が増えるよう、努力されたし。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	海外派遣については、中学生28人、10日間の研修実施を継続する。 小学校の外国語科の実施に向け、小学校教員だけでなく中学校教員も含めた研修の充実を図っていく。		

茂原市男女共同参画社会づくり推進協議会による第三者評価(H29事業)

項目評価及び総合評価

項目評価基準	評価	【項目評価基準】	
(a) 立てられた計画に基づき、着実に実行しているか	3	4…十分達成している	【90%以上】
(b) 担当課の自己評価は適切に行えているか	3	3…概ね達成されている	【70%以上】
(c) 課題に即した改善策(次年度計画)が立てられているか	3	2…達成半ばであり改善を要する	【50%以上】
(d) 適切な数値目標が提示されているか	3	1…不十分である	【50%未満】

総合評価	総合評価の判定理由
B	数値目標はほぼ達成しているが、男子生徒の参加が少ない。
改善策等の提言	
<ul style="list-style-type: none"> ・男女比が1:5となっているため、男子生徒の参加が増えるよう工夫されたい。 ・海外派遣を希望する生徒がみな参加できるような補助制度などを検討されたい。 ・国際理解教育として、保護者の中にいる外国人の方に自国の話をしてもらってはどうか。伝統文化の学習についても、保護者や地域の方々に声をかければ教えられる人もいないか。 ・海外派遣に付き添った教師から教師への報告会も行っていただきたい。 ・小学校の英語教育についてあまり書かれていないので、詳細を記載していただきたい。 	

【総合評価基準】

- A : 十分な成果をあげた(達成度8割以上)
 B : ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)
 C : 事業の対象や見直しが必要(達成度3割以下)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引続き、研修への積極的な参加による知識の習得と情報収集に努め、関係機関との連携を図りながら、相談窓口の周知啓蒙に努める。DVIに関する相談があった場合、相談窓口スムーズに繋ぐことができるよう、対応窓口との更なる連携に努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額

P L A N (計画)	H29年度の具体的な取り組み		
	<p>①DV防止や被害者支援に関するパンフレット等を配布するとともに、市ホームページの「女性のためのポータルサイト」にDVを受けた際の相談窓口一覧を掲載し、情報提供に努める。</p> <p>②会議や研修に参加し、知識習得と情報収集に努める。</p>		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<p>①DV防止や被害者支援に関するパンフレット等を公民館、窓口、情報公開コーナー、トイレ等に設置した。</p> <p>②DV等に関する庁内連携会議開催に出席。(1回)</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(14) 相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:1回		年1回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	<p>(評価の根拠) 計画通り、DV防止や被害者支援に関するパンフレット等や市ホームページでの情報提供を行った。DV等に関する庁内連携会議開催に出席し、担当職員同士で情報を交換した。</p> <p>(課題・問題点) まだまだ「女性のためのポータルサイト」の認知度が低い。</p>	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	<p>(評価の根拠) 数値目標は達成されている。</p> <p>(課題・問題点) 「女性に対するポータルサイト」の認知度が低いので、アクセス数が増えるよう工夫されたい。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引続き、研修への積極的な参加による知識の習得と情報収集に努め、関係機関との連携を図りながら、相談窓口の周知啓蒙に努める。DVIに関する相談があった場合、相談窓口スムーズに繋ぐことができるよう、対応窓口との更なる連携に努める。啓発物資の配布や市ホームページの掲載内容の充実等、更なる周知に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(生)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	生活課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口案内するなど、相談業務の充実に努める。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民相談において、DV・虐待等の相談があった場合、関係部署と連携し、適切に対応した。 ・啓発ポスターやチラシを活用し、意識啓発の推進を図った。 ・担当者会議1回 		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(14) 相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:12回(広報による相談日案内)		年5回以上
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 市民相談においてのDV等の相談があった場合には、担当窓口スムーズにつながられるよう連携に努めている。 (課題・問題点) 関係部署と連携し、情報の共有を図るため、今後も庁内会議等により、担当職員同士の情報交換が必要。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 適切な周知に努められている。 (課題・問題点) 引き続き適切な相談窓口の案内等相談業務の充実に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	関係各課と連携し、情報の共有を図ることで、適切な相談窓口案内するなど、相談業務の充実に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	16(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DVIに関する相談窓口等の充実と周知徹底	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

ACT(改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

相談窓口の周知徹底について、引き続き実施していく。関係機関との連携は図れているが、更なる連携と情報共有を図るため庁内関係課による連携会議を開催する。

PLAN(計画) 事業の概要

国・県等の関係機関、庁内の関係各課との連携により、被害者の保護や情報収集に努める。また、家庭児童相談員を配置し、相談窓口の充実を図るとともに、広報もばらやホームページ、パンフレット、ポスター、啓発物資の配布等により周知を図る。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

PLAN(計画) H29年度の具体的取り組み

- ① 庁内におけるDV支援の連携・強化を図るため、関係課による会議を開催する。
- ② 広報もばら、ホームページの掲載やポスターの掲示、パンフレット、啓発物資の配布等により周知を図る。

DO(実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 有)

- ① 平成29年10月24日開催 参加者:13課24名(男性9名、女性15名)※会議資料添付
- ② 広報もばら11月1日号及びHP掲載、ポスター掲示、啓発物資の配布、DVカードの女子トイレへの設置

CHECK(評価) 数値目標とその成果

数値目標とその成果	H28数値目標
(14)相談窓口の周知・啓発回数 5回以上(年1回以上) 成果:年 1回	年1回
(15)DVカード配布枚数 2,500枚(年500枚以上) 成果:年 600枚	年500枚
(18)DV等に関する庁内連携会議開催(5回以上) 成果:年 1回	年1回

CHECK(評価) 担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 庁内連携会議について、対象の部署を拡大し実施した。会議も多数の女性の参加があった。
----------------------	---

CHECK(評価) 推進委員会による2次評価とその理由

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 庁内関係各課とのさらなる情報共有に努められたい。
----------------------	---

ACT(改善) 次年度における取り組み(予定)

組織としての意識向上を醸成させるため、管理職や参加経験のない職員を対象として実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	17	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	相談員のDV等に関する相談技術の向上	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	会議・研修会に積極的に参加し、専門的な知識の向上を図り、相談者の支援に繋げる。

P L A N (計画)	事業の概要	
	被害者からの申出に対し迅速かつ適切に対応するため、国・県・関係機関等が開催する研修事業に積極的に参加し、相談員の資質や相談技術の向上を図る。	
	H29予算額	50
	H29決算見込額	50
	H29予算額(再掲の場合)	
	H30予算額	50
H29年度の具体的な取り組み		
①国、県、関係機関が実施する会議、研修に対し積極的に参加し、担当職員の専門的な知識の向上を図る。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	<p>平成29年5月15日「DV・児童虐待相談新任職員研修」参加1名(女性)</p> <p>平成29年5月30日「市町村DV対策担当課長会議」参加1名(男性)</p> <p>平成29年6月22日「DV職務担当者自立支援スキルアップ研修」参加1名(女性)</p> <p>平成29年8月21日「学校職員等に対するDV・子ども虐待対応研修」参加1名(女性)</p> <p>平成29年11月16日「DV・児童虐待防止セミナー」参加3名(女性)</p> <p>平成30年2月2日「DVによる子どもへの影響等に関する研修」参加(女性1名)</p>

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	(16) DV等に関する研修参加 10回以上(年2回以上) 成果:4回		年2回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 各種会議、研修等に参加し、スキルアップを図った。 (課題・問題点)	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 積極的な研修参加が認められる。 (課題・問題点) 引き続きより多くの研修に参加され、スキルアップを図りたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	今後も積極的に研修等に参加し、職員の専門的な知識の向上を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	18(企)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	DV問題について正しい認識を持ってもらえるよう、引き続きパンフレット等の配布や市ホームページへの情報掲載により周知する。関係部署との連携を図り、地域でDV問題に取り組めるような啓発事業を実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
H29年度の具体的な取り組み			
①DV防止や被害者支援について、パンフレット等の配布や市ホームページによる情報提供等を通じて周知に努める。 ②若年層向けの、デートDVに関する啓発を行う。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①DV防止啓発チラシや相談窓口カード等、関係機関が作成するものを窓口や公民館等に設置するとともに、市ホームページによる情報提供を行った。また、ハートフルフェスタ(男女共同参画に関する講演会)開催前に、市役所ロビーにおいて、また、フェスタ当日会場において、DV防止パネル展示を行い、来場者への意識啓発を図った。(1/27、3/24) ②千葉県男女共同参画地域推進員事業に市民ボランティア(茂原市からは女性2名)と共に参加し、東上総地域の中学校にてデートDVに関する啓発のための寸劇を行った。(7/19白子中学校)(9/22岬中学校)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 5回以上(年1回以上) 成果:年3回		年1回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) DV防止啓発チラシや相談窓口カードの配布や、市ホームページでの情報提供、市役所ロビーや講演会でのDV防止パネルの展示を行った。 (課題・問題点)	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 意識啓発・周知について実施しただけの成果は出ているのか、効果についても記載して欲しい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	DV問題について正しい認識を持ってもらえるよう、引き続きパンフレット等の配布や市ホームページへの情報掲載により周知する。関係機関・部署との連携を図り、地域でDV問題に取り組めるような啓発事業を実施する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	18(子)	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV防止に関する意識啓発	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、DV防止にむけた意識啓発と、DV被害者の自立に向けた支援を図る。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	DVが人権侵害であるという観点から、女性に対する暴力を許さない社会づくりをテーマとした講演会等への参加を促進する。また、若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するための啓発に努める。		

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①被害者に対し、県が主催している「DV被害者のための自立支援講座」への参加を促進する。 ②毎年11月の「女性に対する暴力をなくす運動」にあわせ、街頭啓発を実施する。 ③若年層向けにデートDVに関する正しい理解を促進するため、チラシを配布する。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①年5回の開催に合わせて、参加を促進 ②11月1日「茂原駅周辺街頭啓発活動」実施。参加12名(男性2:女性10名) ③11月自治会回覧による周知		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	(17) 女性に対する暴力をなくす運動の周知 5回以上(年1回以上)	成果:年1回	年1回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 概ね達成できた。 (課題・問題点) 若年層のみを対象とした取り組みはできなかった。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 「事業の概要」に「女性に対する暴力を許さない社会づくり」とあるが、DVの被害者は女性に限らないため、すべての性に対しての支援が必要。若年層を対象とした取り組みについては、他の年代へのアプローチと違った工夫するなど、努力されたし。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	若年層に対する啓発について関係部署と連携し取り組む。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	19	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	障害者(児)の虐待防止	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	障害福祉課	施策の方向	Ⅱ-1(1)DV、虐待防止啓発の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	虐待に係る通報等があった場合は、関係各課および関係機関と連携し、通報内容の確認・訪問・指導・援助を行うことで、その後の虐待防止に努めます。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	障害のある人が尊厳を保ち、安心して暮らしていけるよう、虐待に係る通報・届出の受理、相談・指導・援助を行う。また、障害者虐待の相談窓口及び通報義務について広報誌、パンフレット、ホームページを用いて周知する。		

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①担当職員の資質向上のため、県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修(年4回開催)に積極的に参加。 ②障害者虐待の相談窓口及び通報義務があることを市民に周知するため、ホームページへの掲載や、窓口でのチラシ設置等を行う。 ③虐待通報、発見があった場合、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や成年後見の申立、養護者への支援などを行う。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①県主催の障害者虐待防止担当者連絡会議及び障害者虐待防止・権利擁護研修(年4回開催)に3回参加し、虐待にかかる相談・指導・援助についての対応技能を習得した。 ②障害者虐待の相談窓口や通報義務があることについて、ホームページ(通年)への掲載や、窓口でのチラシ設置を行い、市民に周知した。 ③虐待通報については、事実を確認し、警察・関係各課・中核支援センター等の機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行った。		

数値目標とその成果		H29数値目標

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 担当職員のスキルアップのための研修への参加、および通報義務等の市民への周知を行い、被害者支援の充実と障害者虐待防止の推進が図れた。 (課題・問題点)
	推進委員会による2次評価とその理由	

C H E C K (評価)	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画どおり実施されている。 (課題・問題点) 通報義務があることをより多くの人へ周知されたい。
-------------------------------	----------------------	--

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も虐待にかかる通報等があった場合は、関係各課及び関係機関と連携し、障害のある人への支援や養護者への支援を行っていく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	20	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV対策について関係機関との連携の強化	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	引き続き、関係機関との情報共有、連携を図るとともに、被害者の安全確保に努める。

P L A N (計画)	事業の概要
	地域配偶者暴力相談支援センター(長生健康センター)、女性サポートセンター、警察、母子生活支援センター、中核地域支援センターなどの関係機関との連携を強化し、シェルターへの避難など緊急的対応の充実を図る。また、外国人や高齢者、障害者等のDV被害者の対応について、庁内支援体制の強化を図るとともに、情報の共有や漏洩防止に努める。

H29予算額	2,731	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	7,578	H30予算額	9,200

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ①関係機関との情報共有、連携を図り支援に努める。 ②被害者の安全確保や支援に努める。 ③DV支援の連携・強化を図るため、支援会議を開催する。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	<ul style="list-style-type: none"> ①延べ相談件数 90件 実人数52人(男性:1人、女性51人)※H30.3.1現在 ②シェルター支援 4世帯8名(うち、母子生活支援施設入所支援:1世帯3名、転宅支援:3世帯5名)※全て女性 ③支援会議 9回

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H28数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 被害者の安全確保に努め、自立に向けた支援を実施した。</p> <p>(課題・問題点)</p>

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上) (評価の根拠) 相談や支援の取り組みが見られる。</p> <p>(課題・問題点) 引き続き関係機関と連携強化を図り、支援を続けられたい。</p>

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	今後も被害者の安全確保に努めるとともに、自立に向けた支援を実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	21	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者のプライバシーに配慮した対応	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	国保年金課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

DV被害者から国民健康保険加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理の研修を引き続き実施する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有に努める。

PLAN (計画) 事業の概要

DV防止法に基づき、配偶者からの暴力を受けている被害者および子について、関係各課及び職員間の情報共有を図り、情報漏洩等のないよう努める。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	0
H29決算見込額	0	H30予算額	0

H29年度の具体的取り組み

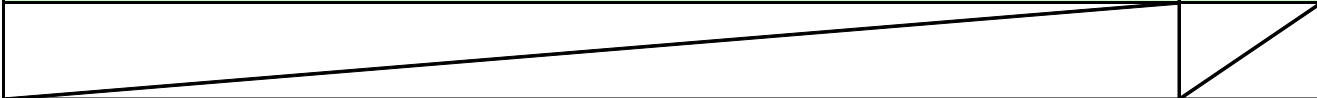
- ①DV被害者からの相談等があった場合に迅速に対応できるよう、職員の研修を行う。
- ②女性サポートセンター等関係機関および庁内関係部署と連携を図り適切な対応に努める。
- ③被保険者証を交付しているDV被害者の事務の引継ぎを綿密に行ない、遺漏のないようにする。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①人事異動、担当事務の変更にあわせて、資格管理の対応の研修を実施した。(4月)
- ②連携を図り適切な対応に努めた。
- ③担当事務の変更にあわせて、事務の引継ぎを行った。

CHECK (評価) 数値目標とその成果

H29数値目標



担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)

(評価の根拠) DV被害者に対して、外部機関及び庁内関係部署と連携を図りながら、迅速かつ適切に諸手続きができた。

(課題・問題点) 今後もDV被害者に対しての適切な資格管理のために、事務の引継ぎを行う必要がある。

推進委員会による2次評価とその理由

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)

(評価の根拠) 研修の実施、外部機関との連携を図り、適切な対応をしている。

(課題・問題点) 引き続き研修を実施し、関係機関及び庁内関係部署と連携を図り、適切な対応に努められたい。

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

DV被害者から国民健康保険加入の相談があった場合、迅速かつ適切に対応できるように、資格管理の引継ぎを実施する。また、被害者情報を適切に管理するため、関係部署との情報共有に努める。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	22	基本目標	Ⅱ あらゆる暴力の根絶
事業名	DV被害者等における住民基本台帳等の閲覧等の制限	主要課題	Ⅱ-1 暴力の防止と被害者支援の充実
課係名	市民課	施策の方向	Ⅱ-1(2)被害者に対する支援、相談の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	今年度と同じく、引き続き支援を行っていく。課内及び他課との情報共有、連絡相談をより密に行っていく。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	DV被害者等からの申出により、住民基本台帳等の閲覧・交付の制限を行います。関係各課にて支援情報を共有することで、個人情報の漏洩を防ぐ。		

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	0
H29決算見込額	0	H30予算額	0

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①市民課では、窓口として女性職員(臨時職員を除く)全員が、被害者の立場・心情を理解した対応ができるようにしている。(DVというものを理解し、女性の視点に立った相談を受け付けている) ②支援決定後、関係各課に文書を送付し、情報の共有や個人情報の漏えい防止に努めている。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①被害者への配慮をすると共に、今年度より支援措置の実施・不実施に関わらず、DV被害等の相談を受けた際に支援措置に関する注意点や内容に関する案内をお渡しし、より被害者の立場等に沿うよう対応した。 ②平成29年度の茂原市での支援措置実施決定は29件(市外含む全体では71件)。庁内での情報共有を市内に住所のある29件分について支援決定の際、適宜行った。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 上記のとおり、計画どおり実施出来たため。 (課題・問題点) 課内も含め、支援措置への一部認識、理解や知識の不足が未だ見られるため、これについても継続して周知していく必要がある。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 関係各課との情報共有や個人情報の漏洩防止が計画どおりできている。 (課題・問題点) 課内全員が統一的な対応ができるように努められたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今年度と同じく、引き続き支援を行っていく。課内及び他課との情報共有、連絡相談をより密に行っていく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	23	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女共同参画によるまちづくりの推進と審議会等委員への女性参画の拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	審議会等委員への女性の積極的登用についての指針策定について検討する。

P L A N (計画)	事業の概要
	市民協働によるまちづくり推進を担う各団体において、意思決定過程における男女共同参画を促進するとともに、審議会等委員の選定にあたっては公募枠の拡大、代表者に限定しない適任者の推薦などを依頼し女性の登用を促進する。特に女性委員のいない団体や審議会等をなくすことを目指し女性の参画拡大を図る。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み
	①女性委員ゼロの審議会について、女性を積極的に登用するよう依頼する。 ②審議会等委員への女性登用推進の方策について、先進市の事例を参考に検討する。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 有)
	①女性委員がいない審議会等について、各担当課に審議会名をあげて女性を登用するよう依頼したことにより、女性の登用が一部の審議会において推進された。(水防協議会H28女性0/22名→H29女性1/22名、地方青少年問題協議会H28女性0/9名→H29女性2/9名) ②審議会等への女性委員の登用について指針や要綱等で定めている市町村は、県内でも少数であり、現段階では各課への積極的な女性委員登用を文書にて依頼するにとどまっている。

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標
	(19) 審議会等における女性委員の登用率 30%以上 H29年度(4月1日時点) 20.9% (H28.4.1時点 19.0%、H27.4.1時点18.9%)	30%

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標は達成しなかったが、女性委員の登用率は上昇し、女性委員のいない審議会数が減っている。 (課題・問題点) 委員改選にあたり、各担当課に女性委員の登用を積極的に推進してもらおう働きかけが必要

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 担当課に同じ (課題・問題点)

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	女性委員のいない審議会等については、その原因を担当課にヒアリングし、女性を積極的に登用する取り組みを推進する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	24	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	広聴活動における女性の意見聴取機会の確保	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	秘書広報課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、「市長と話し合う会」の会議録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。また、広報やウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。開催回数・時間は未定。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」、「公共施設見学会」など、広聴事業に女性参加者を増やす方策を講じ、女性の意見聴取機会の増加を図る。		
	H29予算額	94	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	63	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①「市長と話し合う会(仮称)」を11月に開催予定。会議録をウェブサイトに掲載するだけでなく、行政情報コーナー・本納支所・図書館に設置し、興味喚起を行う。また、開催方法の見直しを行う。 ②「市民ふれあいミーティング」は、昨年同様、5人以上の団体・グループからの申込制とし、申込者からテーマ・日時設定をしてもらい、女性同士でも気軽に参加しやすくなるように工夫。 ③「市長への手紙」で寄せられた意見等や回答をウェブサイトに掲載、行政情報コーナー・本納支所・図書館でも閲覧できるようにするなど積極的に公表し、興味喚起を行う。 ④「公共施設見学会」を10月17日(水)に開催。公共施設の見学を通じて市政への理解を深めてもらう。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①「市長と話し合う会」(1回開催)【参加者55人(男48人、女7人)】(H28参加者50人(男45人、女5人)) ②「市民ふれあいミーティング」(開催なし)(H28は1回開催 参加者18人(男14人、女4人)) ③「市長への手紙」【回答したものは48件(男37人、女11人)】(H28は47件(男26人、女21人)) ④「公共施設見学会」(1回開催)【参加者30人(男14人、女16人)】(H28は1回開催 参加者27人(男14人、女13人))		

数値目標とその成果		H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 男女問わず広く市民から意見が出されている。特に「市長への手紙」や「公共施設見学会」は、女性からの提案・質問・参加等も多く、意見聴取の機会は確保されている。また「市長と話し合う会」については、今年度からテーマを設けたことにより、女性参加者及び女性からの質問が多くなった。 (課題・問題点) 「市長と話し合う会」や「市民ふれあいミーティング」は、女性や若年層の参加が少ないため、広報もばらやウェブサイトだけでなく、他の周知手段を考える必要がある。
推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 「市長と話し合う会」と「公共施設見学会」は参加人数が増加しており、女性の参加も増えている。周知についても、Facebookやマチイロ等を活用し、工夫している。 (課題・問題点) 参加については任意なので、参加人数や女性の割合を直接的に増加させることは困難である。Facebook以外のSNS(Twitter等)の活用等、周知については更なる工夫の余地あり。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、「市長と話し合う会」の会議録や「市長への手紙」の内容を公開していくことで、興味喚起を行う。また、広報やウェブサイトだけでなく、Facebookやマチイロ等の媒体を活用し、周知に努める。開催回数・時間は未定。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	25	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の登用の推進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	今後も積極的に、女性の登用を図る。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	男女を問わず採用・登用し、性別にとらわれない人事配置を行う。また、女性職員がその能力特性を十分に発揮し、政策・方針決定過程への参画を通して管理職へ積極的に登用されるよう、人材育成の方策について検討する。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①適材適所の人員配置をし、積極的な女性の登用を図る。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①平成29年度 管理職への登用状況(H29.4.1現在) 管理職における女性の割合 19.0%(23人/121人) (H28.4.1時点 17.5%(21人/120人)) 9級(部長職) 0人/8人 (H28.4.1時点 0人/11人) 8級(次長職) 0人/10人 (H28.4.1時点 0人/12人) 7級(課長職) 4人/36人 (H28.4.1時点 2人/38人) 6級(補佐職) 19人/67人 (H28.4.1時点 19人/59人) ※H28から算出方法変更		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(20)管理職における女性の割合 目標:平成32年度までに30%以上 成果:19.0%		—
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 能力開発のための研修参加者から管理職へ登用を図り、効果をあげることができた。政策・方針決定などに参画し、実力を発揮している。 (課題・問題点) 女性の登用にあたっては、本人の意欲や責任感の醸成が必要であるとともに、長期的視点にたつて対応を図る必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 女性管理職の割合低下は、管理職相当職(副主幹)の枠数が増えて母数が120人から126人に増えたためであり、女性管理職数21人は変わっていないが、21人のまま現状維持では、H32までに30%の数値目標を達成するのは困難ではないか。(126人の30%は37~38人) (課題・問題点) 数値を上げるための急な昇進・管理職登用により、女性本人にとって負担になってしまう例もある。早期からの意識の醸成・能力開発等の人材育成に取り組まれない。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	今後も積極的に、女性の登用を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	26	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	市女性職員の能力開発のための研修への参加機会の確保・拡大	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅲ-1(1)市政における政策・方針決定過程への男女共同参画の推進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	今年度と同様の研修に積極的に派遣するとともに、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	女性職員の人材育成の観点から、関係機関での研修を活用するなど、能力開発のための研修等への参加機会の確保・拡充を図る。		

H29予算額	80	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	77	H30予算額	77

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①千葉県自治研修センター及び市町村アカデミーの実施する女性職員のための研修に、積極的に職員を派遣する。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①平成29年度5名の女性職員を派遣。 ・千葉県自治研修センター「接遇研修指導者養成研修」(3日間)1名 (H28 3日間 1名) ・千葉県自治研修センター「女性職員スキルアップ研修」(1日間)2名 (H28 1日間 2名) ・株式会社インソース「女性リーダー研修スキルアップ編」(1日間)2名 (H28 1日間 2名)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(21) 市女性職員の能力開発のための研修への参加人数 延べ25人以上 成果:5人		年5人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 女性職員の自主的な参加を募ったことで、女性リーダーの育成に有効であった。また研修派遣後、接遇研修指導者養成研修受講者は、全職員を対象とした特別研修で、接遇研修の講師を務めるなど、意欲的に活躍している。(参加者33名) (課題・問題点) さらに多くの女性職員が参加できるよう周知に努める。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 事業No. 25の女性管理職割合増加のためにも、より多くの女性職員を参加させ、女性リーダーの育成を図られたい。数値目標を年5人から増やしてもいいのでは。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、自発的に参加しようとする職員の育成に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	27	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知と積極的取り組み(ポジティブ・アクション)の促進	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、公式HP上でさらに見やすく利用しやすいものとし効果的に発信する。また、優良企業の認定や表彰制度など市独自の施策を検討する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	男女ともに仕事と育児・介護が両立できる職場環境を整備するため、男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度の周知を図る。また、商工会議所等の関係機関と連携し、企業・団体におけるポジティブ・アクション(積極的改善措置)の実行等を通じ、積極的に女性を指導的地位へ登用するよう促す。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①男女雇用機会均等や育児・介護休業に係る法制度、ポジティブ・アクション関連の情報提供のため、市ホームページを積極的に活用するとともに、商工団体の広報誌への掲載やパンフレット等の配付により事業所への周知に努める。 ②他市町村や企業における先進的な取り組みなどを調査し、本市における促進施策を検討する。			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①茂原商工会議所が開催する会議等の機会を利用し、パンフレットを配布することで事業所への周知に努めた。市の公式HPやパンフレットの設置により、国・県等の取り組みや相談窓口などの周知を図った。また、ハローワーク茂原と市が共催する新規学校卒業予定者求人手続き等説明会や、公正採用選考人啓発推進委員研修会において、男女雇用機会均等や育児・介護休業制度に関する基本的な知識の習得に努めた。 ②本市独自の具体的な促進施策の検討にいたっていない。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 例年どおりの取組みにとどまり、積極的な事業実施が展開できていない。また、国・県等の施策に関する情報についても、さらなる効果的な発信に努める必要がある。 (課題・問題点) 市の取組みは制度に関する情報提供が主となり、事業所における問題や成果について把握していないことから、千葉労働局雇用環境・均等室と連携を図り、本市における施策の推進を目指す必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 担当課と同じ。 (課題・問題点) 先進的な取り組み等の調査や、本市独自の具体的な促進施策の検討について実際に取り組まれたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、公式HP上でさらに見やすく利用しやすいものとし効果的に発信する。また、「次世代育成支援対策推進法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」の周知に努めるとともに、一般事業主行動計画の策定を促進する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	28	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	就労を希望する女性の再チャレンジ支援	主要課題	Ⅲ-1 政策・方針決定過程における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅲ-1(2)企業や団体における方針決定過程への男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	H28年度に実施したセミナーのアンケート結果をもとに、千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職支援セミナーを継続して開催する。また、マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンターなどの支援機関と支援業務の情報を効果的に発信する。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	県及び関係機関と連携し、女性の職業能力の向上のための講座や再就職を支援するための情報提供を実施する。 広報紙・ホームページを利用し、就業相談窓口の情報を提供するとともに、女性の就職・再就職等のための相談事業の支援を実施する。		

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①11月7日に「千葉県ジョブサポートセンター」から講師を招き、託児付の「子育てお母さんの再就職支援セミナー」を開催したところ7名が参加した。 ②「マザーズハローワーク」や「千葉県ジョブサポートセンター」における、就業相談・就職支援セミナーなどの情報を提供した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
------------------------------------	--	--

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 昨年のアンケート結果を踏まえ、開催日を平日の午後に設定するとともに、保健センターを会場に開催したが参加人数が少なかった。
	(課題・問題点) 再就職支援については、就業を希望する女性のニーズを把握し、支援メニューを提供する必要がある。参加者の募集については、様々な手段を講じたものの少人数にとどまった。

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 昨年のアンケート結果を反映させて開催日を工夫しているが、参加人数が少ない結果になっている。セミナー内容がニーズと合致しているのか、セミナーという方法が求職者のニーズと合致しているのか、調査されたし。参加者募集や情報発信の効果的な方法についても、SNSを活用する等、具体的に検討されたし。
	(課題・問題点) 再就職支援セミナーについて、目標人数や定員に対しての集客率の記載があると評価しやすい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	千葉県ジョブサポートセンターと連携し、ニーズに応じた再就職支援セミナーを継続して開催する。また、マザーズハローワークや千葉県ジョブサポートセンターなどの就職支援機関と支援業務の情報を効果的に発信する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	29	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	国際的視野に立った男女共同参画の推進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	姉妹都市交流については、多くの市民が関われるよう、また、関わった人が継続して国際交流に参加できるよう工夫する。国際交流協会については、活発に事業が実施できるよう支援し、会員増員に努める。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	男女を問わず国際社会に柔軟に対応できる人材を育成するため、国際交流を通じて異文化理解と友好親善を深める機会の充実に努める。 また、茂原市国際交流協会と協力し、性別・国籍を問わずすべての住民が安心して暮らせる多文化共生社会の実現を目指す。		
	H29予算額	385	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	2	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①姉妹都市ソルズベリー市との交流について、男女を問わず市民が中心となって参加できる事業を実施する。 ②国際交流協会の活動において、性別・国籍を問わず活動に参画・参加することができ、地域の国際化に貢献できる機会を提供する。		
C H E C K (評価)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①姉妹都市ソルズベリー市のエンデバーカレッジより学生を受け入れ、茂原小学校で交流した。(学生21名:女12、男9)(教員4名:女3名、男1) ②茂原市国際交流協会の活動において、性別・国籍を問わず参画を呼びかけ、外国人と会員相互の理解及び交流を促進する事業を企画・実施した。(7/30七夕まつりステージ出演、8/6・27「やさしい日本語」講座、9/17国際交流バスツアー、10/8国際交流バーベキュー、11/26在住外国人のための交通安全教室、12/10国際交流パーティー、1/24世界の料理教室) ※予算及び決算については、国際交流協会は独自の会計のため含まない。 予算に対して決算が少ないのは、姉妹都市ソルズベリー市からの訪問が予定より少なかったため。		
A C T (改善)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(22) 国際交流イベントの開催 10回以上(年2回以上) 成果:7回		年3回
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 姉妹都市ソルズベリー市より学生を受け入れ、学校との連携により市民が異文化に触れ交流する機会を作ることができた。エンデバーカレッジ・茂原小学校どちらも、男女問わず英語・体育・書道の授業や、日本文化体験に共に参加した。 (課題・問題点) 茂原市国際交流協会の活動について、男性の参加者が比較的少ない。(理事は15名中女性6名、男性9名、会員は125名中女性82名、男性43名)	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 国際交流イベントの開催について、数値目標を上回っている。しかし、目標及び開催数が十分なのかどうか、他自治体の国際交流協会と比較するなどして判断基準を示した方が評価しやすい。 (課題・問題点) 性別・国籍を問わず活動への参画を呼びかけ、受け入れるのは当然のこと。会員や行事等への参加者数を増やすため、日本人コミュニティとの接点が少ない外国人及び彼らのコミュニティにどうアプローチしていけるか工夫されたし。		
次年度における取り組み(予定)			
姉妹都市交流についても、国際交流協会の事業についても、男女共に自主的に活動に参加し、活躍できるよう、さらなる周知に努め、活動を支援する。			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	30	基本目標	Ⅲ 様々な分野における男女共同参画
事業名	環境保全における男女共同参画の促進	主要課題	Ⅲ-2 地域社会における男女共同参画
課係名	環境保全課	施策の方向	Ⅲ-2(1)地域における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続きゴミゼロ運動を実施し、市民の環境美化意識の高揚を図る。第66回花いっぱいコンクールを開催し、多くの人に参加して頂けるよう、花いっぱい運動推進協議会と協働により呼びかけを行う。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	公共施設への花の植栽や花いっぱい運動を通じて緑や花を育てる市民意識の高揚を図るとともに、ゴミゼロ運動など環境保全のための地域活動に男女がともに参画する環境づくりを目指す。		
	H29予算額	2,480	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	2,435	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①ゴミゼロ運動の実施(5月28日) 参加者数 12,186人 (H28:12,498人) ②花いっぱいコンクールの実施 春(4月13日、4月14日) 秋(9月19日、9月20日) 参加38組 (H28:37組)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(23) 花いっぱいコンクールの参加者数 目標:延べ200組(年40組×5年) 成果:38組		年40組
	(24) ゴミゼロ運動の参加者数 目標:延べ75,000人(年15,000人×5年) 成果:12,186人		年15,000人
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		(評価の根拠) ゴミゼロ運動は男女を問わず幅広い年齢層の市民が参加した。また、年間を通じて自治会やボランティア団体による地域清掃が行われている。花いっぱいコンクールは男女ともに参加が得られた。 (課題・問題点) 参加者の増に努める。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)		(評価の根拠) 参加者数の数値目標について、花いっぱいコンクールは9割以上、ゴミゼロ運動は8割以上の達成率。 (課題・問題点) ゴミゼロ運動について、昨年度より300人以上の減少がみられる。参加者を増やすための方法を具体的に示すことができた方がいい。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	ゴミゼロ運動を継続していくことで市民の環境美化に対する意識の高揚を図る。茂原市花いっぱい運動推進協議会と協働により第67回花いっぱいコンクールを開催し多くの方に参加してもらえるよう呼びかけていく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	31	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	父親の子育てに関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識啓発を図る。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	家庭教育学級などにおいて、父親の子育ての意識を高める内容を取り入れるなど、父親の積極的な子育ての参加を促進するための学習機会を提供し、子育てを共にする意識の啓発を図る。 また、父親が参加しやすいよう、講座・講習会・研修視察等を土日にも開催し、男女共同参画の高揚を図る。		
	H29予算額		H29予算額(再掲の場合) 614
	H29決算見込額	501	H30予算額 614
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	① 5回 41人 (男性 1人、女性 40人) ② 14回 633人 (男性 25人、女性 608人) ③ 67回 2,416人 (男性 528人、女性 1,888人)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(25) 家庭教育学級の開催回数 375回(年75回) 成果: 86回		年 75回
	(26) 家庭教育学級の父親参加者 延べ1,700人以上(年340人以上) 成果: 554人		年450人
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 開催回数、参加者数が数値目標を上回ったため。		
	(課題・問題点) 更なる男性の参加増加に努める。		
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を上回っている。		
	(課題・問題点)		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、家庭教育学級を通じて、家庭生活における男女共同参画の意識啓発を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	32	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	妊娠期の健康管理・育児に関する学習機会の提供	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	平日の1回あたりの参加者が少ないため、H29年度は、4回1コースを、3回1コースとして、1回あたりの集客増を見込む。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	妊娠期から夫婦で積極的に健康管理・育児の知識の普及と技術の習得を行うことで、出産後育児が不安なく行われ、愛情を持って子どもを養育できるよう「ママ・パパ教室」等を実施する。開催にあたっては父親も参加しやすいよう土曜日にも実施する。		
	H29予算額	73	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	70	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①男性が積極的に育児参加できるよう妊娠中から育児技術の習得ができるよう、実技体験など学習機会の提供を行う。 ②妊娠・出産・育児には、夫婦のパートナーシップのもと子育てを共にする意識啓発を図る。 ③助産師と保健師の専門性・連携のもとに各種教室・講座を実施する。		
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	妊娠出産準備編、産後育児編、沐浴実習編の3コースにて実施(年12回)(H28は4コース14回実施) 参加人数延べ351人:男143人、女208人(うち妊婦実数132人)(H30年2月末現在) (H28 延べ296人:男116人、女180人(うち妊婦実数120人))		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(27) ママ・パパ教室の初妊婦参加率 目標:50% 成果:52%(H28 52.4%)		(27) 50%
	(28) ママ・パパ教室のパートナー参加率 目標:70% 成果:69%(H28 64.4%)		(28) 70%
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
C H E C K (評価)	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 初妊婦参加率は、目標達成できたが、パートナー参加率は目標の70%を達成できなかった。	
		(課題・問題点) 平日の1回あたりの参加者は前年度より増加したが、男性の参加者は少ない。	
C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標の達成率はよい。	
(課題・問題点) 男性の参加者が増えるよう、努力されたし。			
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	平日の日程があわない参加者のために、訪問、保健センターにての個別指導を実施する。また、教室の内容を父親にも参加しやすい内容にし、男性の参加率を向上させる。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	33	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	男性の家庭参画を促す講座等の実施	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	東部台文化会館	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

引き続き「男の料理教室」を実施するほか、「太巻き教室」に男性枠を設けるなどして、家事に親しんでもらい、男性の家庭参画を促進する。

PLAN (計画) 事業の概要

男女が対等な家族の構成員として互いに尊重し協力し合えるよう、男性も参加しやすい料理教室やその他生活に根ざした実践的な講座・生きがい講座等を開催し、男性の家庭参画を促進する。

H29予算額	100	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	100	H30予算額	100

H29年度の具体的取り組み

- ①「男の料理教室」は毎月第3又は第4金曜日とする。(5~7月、9~10月の年5回)、「太巻き寿司教室」は毎月第4又は第3木曜日とする。(6~7月、9~11月の年5回)
- ②旬の食材を生かし、健康的な家庭料理を実習する(男の料理教室)。季節感たっぷりの模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司を実習する(太巻き寿司教室)。
- ③食生活への関心を高め、健康増進を図るとともに、楽しく家事に参加するよう促す。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①「男の料理教室」講師:佐土邦枝氏 開催日:5月19日、6月24日、7月21日、9月22日、10月27日(金)全5回 参加者91人(男91人)、「太巻き寿司教室」講師:関野和子氏 開催日:6月22日、7月27日、9月28日、10月19日、11月16日(木)全5回 参加者94人(男15人)
- ②旬の食材を生かし、健康的な家庭料理を実習した(男の料理教室)。季節感あふれる模様を巻き込んだ房総伝統の太巻き寿司を楽しく実習できた(太巻き寿司教室)。
- ③食材の特性や季節感を生かし、家庭でも参考になる調理方法を実習した。

CHECK (評価) 数値目標とその成果 H29数値目標

(29) 男性の家庭参画を促す講座の開催 45回以上(年10回以上) 成果:年10回	年10回
(30) 男性の家庭参画を促す講座の参加者 900人以上(年180人以上) 成果:106名	年200人

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 受講者が楽しそうに作業している様子や、普段家庭で料理をする際の疑問点などを質問する姿が見られることから、食に対する興味や家庭参画が促進されていると感じる。 (課題・問題点) 受講後のアンケートにより、もっと基礎から習いたいという意見や、道具の使い方を教えてほしいという意見があるため、内容の見直しが必要である。
-----------------------------	--

推進委員会による2次評価とその理由

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標については、講座の開催回数は達成しているが、参加者数は達成していない。 (課題・問題点) 「太巻き寿司教室」の受講者の男女比に差があるため、より多くの男性が受講するよう、男性のニーズを汲む等工夫されたし。
--------------------------------	---

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

「男の料理教室」「太巻き寿司教室」を実施し、家事に親しんでもらう機会を設け、更なる男性の家庭参画を促進する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	34	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	乳幼児相談・検診事業の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	健康管理課	施策の方向	Ⅳ-1(1)家庭生活における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	電話や家庭訪問等における受診勧奨を行い、さらなる受診率の向上をめざす。男性がより積極的に育児に参画するためにも、健診から育児パパおとこ塾等へ積極的に参加できるよう事業周知をはかっていく。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	すべての乳児に健康相談、幼児に健康診査を行い、運動機能・視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止する。また、乳幼児期の親子が健全に成長発達でき、楽しく育児ができるように健康相談、健康診査を通じて男女が共に家庭における役割を担えるよう啓発していく。		
	H29予算額	5,386	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	5,386	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①相談・健診未受診者に対して、電話・家庭訪問等で再勧奨し、受診率の向上を目指す。 ②相談・健診時に発達の遅れのある児に対しては、心理相談や医療機関に繋げ、必要に応じて継続的に支援する。 ③育児についての不安や悩みをしっかりと聞くことにより育児不安の軽減を図り、家族やパートナーとの関係で悩んでいる方は、育児パパおとこ塾等の事業や関係機関の相談に繋げる。		
C H E C K (評価)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①受診率:6か月乳児相談95.6%、1歳6か月児健診97.3%、3歳児健診96.8% ②心理相談利用者数:1歳6か月児健診55件、3歳児健診73件 ③受診勧奨、精密検査連絡票発行者数:6か月乳児相談48件、1歳6か月児健診13件、3歳児健診25件 (平成30年2月末現在)		
A C T (改善)	数値目標とその成果		H29数値目標
	①6か月乳児相談受診率 成果:95.6%(H28成果:95.6%)		① 95%
	②1歳6か月児健康診査受診率 成果97.3%(H28成果:99.2%)		② 97%
	③3歳児健康診査の受診率向上を目指す。 成果:96.8%(H28成果:98.2%)		③ 95%
担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 6か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診のいずれも数値目標を達成した。		
	(課題・問題点) 次年度も受診率の向上に努める。		
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。		
	(課題・問題点) 受診率については、民間の病院等でも受診可能なため、ここでの数値だけでは測れないので、パートナー参加率を向上させるよう工夫されたし。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	電話や家庭訪問等における受診勧奨を行い、さらなる受診率の向上をめざす。男性がより積極的に育児に参画するためにも、健診から育児パパおとこ塾等へ積極的に参加できるよう事業周知をはかっていく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	35	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子ども・子育て支援事業計画の推進	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	引き続き、各事業の実績を把握して充実を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	「未来に輝く子どもたち みんなで育てるまち もばら」の基本理念をもとに、幼児期の学校教育・保育の充実及び地域子ども・子育て支援事業の充実に加え、「長生郡市次世代育成支援対策地域行動計画」で掲げてきた各施策について、4つの基本目標を掲げ推進していく。

H29予算額	506	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	244	H30予算額	510

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み
	①茂原市子ども・子育て審議会を開催し、平成28年度の実績報告をする。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①茂原市子ども・子育て審議会を開催し、平成28年度の実績報告をした。また、計画期間の中間年を迎えるにあたり、平成27年度からの実績値を基に今後の数値を推計するなど、計画全体の見直しを図った。会議を4回開催した。

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H28数値目標
		

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 計画の各子育て支援事業の進捗状況を確認し報告した。また計画の見直しが図られた。 (課題・問題点) 全54事業を実施するにあたり、全てを細かく把握することが難しい。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 具体的取り組みや実施結果、1次評価について、男女共同参画の視点から記載されていないと、評価が難しい。 (課題・問題点)

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	引き続き各事業の実績を把握して子育て支援策の充実を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	36	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育て支援に関する情報提供	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	「もばらで子育てガイドブック」の発行部数の拡大と、スマートフォンアプリユーザーの普及促進を図る。

P L A N (計画)	事業の概要
	男女が協力して子育てできるよう子育てガイドブックの配布、ブックスタートの充実、ホームページの活用による子育て支援に関する情報提供に努める。また、育児や養育に関する不安や、仕事と子育ての両立における問題を解消できるよう、こんにちは赤ちゃん訪問や家庭相談員による家庭訪問等で対応していく。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み
	①ガイドブックについて、昨年度に引き続き、官民協働発行事業によりフルカラー印刷で発行する。 ②冊子だけでなく、ホームページ、スマートフォンでも読めるようなサービスを提供する。 ※H29年度より③こんにちは赤ちゃん訪問は保健センターで実施。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 有)
	①2017年版もばらで子育てガイドブック発行(年1回、4月末発行)※ガイドブック添付 ②市ホームページから全ページ閲覧可。自治体情報サイト「マチイロ」にてスマホで閲覧可。

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H28数値目標
	(31)「もばらで子育てガイドブック」の配布数 目標:10,000部以上(年2,000部以上) 成果:2,500部(H29 2,000部) (32)ブックスタート手渡し率 目標:100% 成果:なし ※ブックスタートについては、H29年度より保健センターの妊娠届時に手渡すこととなった。	年2,000部

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画どおり実施した。 (課題・問題点)

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画通り「もばらで子育てガイドブック」をフルカラー印刷し、発行部数について500部増加した。また、ホームページやスマホで閲覧できるよう提供した。 (課題・問題点) 引き続き、冊子の発行部数を増やし普及率を高めるよう努力されたし。また、SNS等を活用し、広く周知されるよう工夫されたし。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	ガイドブックについて、今後も妊娠期から子育て期の家庭に対し、わかりやすい誌面を心がけ作成する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	37	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	子育てに関する相談業務の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	実務者会議を2ヶ月ごとに開催し、定期的に関係機関との情報共有、連携を図る。引き続き、積極的に訪問相談を実施し、育児・子育てに関する情報に対応する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	夫婦で子育ての不安や孤立感を解消できるよう、広報もばらや茂原市ホームページを活用して相談事業の周知を図るとともに、子育て支援課(子育て家庭相談室)及び保育所、幼稚園、保健センターなどの身近な施設において、育児・子育てに関する相談に対応する。児童虐待などの専門的な内容や困難事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する関係機関と連携を図りながら対応する。		
	H29予算額	73	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	43	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①実務者会議の開催回数を増やし、関係機関との情報共有、連携強化を図る。 ②電話や窓口だけでなく、家庭内や公共施設等を活用した訪問相談について積極的に行う。		
C H E C K (評価)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①年6回開催(偶数月)参加した関係機関11団体。参加人数延べ90人(男性:42人、女性48人)(H28年6回開催) ②延べ相談件数 897件(電話:624件、窓口:165件、訪問:108件 H30.3.1時点)(H28訪問相談件数 年20件)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 計画通り実施した。 (課題・問題点)	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 実務者会議を計画通り隔月で開催しており、また、積極的な訪問相談への取り組みにより件数が増えている。 (課題・問題点) 引き続き、積極的に訪問相談を行い、育児・子育てに関する問題について対応されたい。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き関係機関との連携・情報共有を密にし、相談業務の充実を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	38	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	多様な働き方を支援するための保育サービスの拡充	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	病児・病後児保育については、酒井医院への助成について長生郡内の関係町村と協議する。また、バンビ一(宮内内科医院内の病児・病後児保育室)の利用率向上に向けた取り組みを始める。ファミリーサポートについては、平成29年度中に何らかの準備行為について開始できるようにする。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	子育てと仕事が両立できるように延長保育事業、一時預かり事業、病児・病後児保育 事業の充実に努め、ファミリーサポートセンター の創設を視野に入れ、更なるサービスの充実に努める。		

H29予算額	病児・病後児(既存分):7,200 ファミサポ:0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	7,200	H30予算額	12,705

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①一時預かり保育は公立では朝日の森保育所、私立では高師保育園・東茂原保育園で実施する。延長保育は全保育所で実施し、豊田保育所については、利用時間を30分早めて実施する。 ②病児・病後児保育事業の利用増進に向けた関係各方面との協議・検討 ③ファミリーサポートセンター創設に向けた社会福祉協議会との協議及び準備行為の開始		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①一時預かり保育利用者数(延べ):朝日の森保育所119人、高師保育園11人、東茂原保育園52人 延長保育利用者数(月平均対象児童):公立82人、私立48人 ②病児・病後児保育利用者(H29見込):130人 ③ファミリーサポートセンター事業開始に向け、仕様等の協議を行った。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果			H29数値目標
	(33) 延長保育の実施時間を延長する保育所	目標:1カ所	成果:1カ所	1カ所
	(34) 一時預かりを実施する保育所	目標:1カ所	成果:3カ所	3カ所
	(35) 病児・病後児保育を実施する保育所の追加	目標:1カ所	成果:1カ所	1カ所

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 一時預かり保育を新たに朝日の森保育所で実施し、保護者の多様な保育ニーズに応えることが出来た。 (課題・問題点) 病児・病後児保育については、利用促進をどのように図るかが課題。ファミリーサポートセンター事業については、円滑な事業開始をどのように図るかが課題。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・問題点)	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き、延長保育及び一時預かり保育を実施し、保護者の多様な保育ニーズに対応するとともに、更なるサービスの充実に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	39(子)	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・西町学童クラブの移設に向けて具体的に準備を進める(設置工事など)。 ・民設学童クラブのあり方について、今後検討。 ・小学校再編との連携及び学校施設の利活用について、教育委員会・学校と協議を進める。 		

P L A N (計画)	事業の概要		
	<p>学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。</p>		

H29予算額	60,004	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	61,335	H30予算額	63,120

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	<ul style="list-style-type: none"> ① 通年学童にかかる入所関係事務及び夏期学童の実施 ② 民設学童クラブ利用者への利用料補助 ③ 小学校空き教室利用の具体的検討 		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<ul style="list-style-type: none"> ① 12月に通年学童の新年度入所受付・決定事務を実施。夏期学童については市民センター健康増進室にて実施し、例年25人定員だったところ40人に拡充して実施。 ② 民設学童クラブ利用者へ利用料補助については、各民設クラブに周知し、補助を実施。(年3回の申請受付、振込による補助)延べ145件、3,600千円 ③ 小学校空き教室利用の具体的検討については、西町学童クラブの移設を実施(西小学校余裕教室) 		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(36) 学童保育の開設場所	目標:19カ所 成果: 19カ所	19カ所
	(37) 学童保育の児童数	目標:延べ3,075人(年615人) 成果: 570人	615人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 本事業の実施により、保護者の就労環境の整備と児童の育成環境の向上が実現されたものとする。(特に夏期学童クラブの拡充と西町の小学校内への移設に関して)</p> <p>(課題・問題点) 市内中央部の民設学童クラブにおいては待機児童が漸増傾向にあると思われる。一人でも多くの児童の利用が叶うよう、受け入れ枠の確保が望まれている。</p>	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 数値目標について、学童保育の開設場所は100%達成、学童保育の児童数は90%以上達成している。</p> <p>(課題・問題点) なぜ西町学童クラブのみ移設するのか。他の地域の小学校空き教室の利活用及び学童の運営に関しても、教育委員会・学校とよく協議されたし。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・本納学童クラブについて、本納小学校余裕教室への移転を進める。 ・待機児童が増えつつあるクラブについて、学校施設の利活用による受入枠拡大のための具体的計画を策定する。 		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	39(生)	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	放課後等の子どもの居場所づくり	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	生涯学習課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

ACT(改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

「放課後子ども教室推進事業」において実施する夏休み子ども教室に学童クラブの児童を受け入れ、学習・体験プログラムを提供することにより、児童の健全育成を支援する。豊田小、緑ヶ丘小、中の島小、茂原小、鶴枝小の5校で実施する。

PLAN(計画) 事業の概要

学童クラブでは、小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後等に児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。また、夏休み子ども教室では、夏休み期間中、すべての子供を対象に、学校の余裕教室等を活用した安全・安心な居場所づくりと学習や地域住民との交流活動等の機会の提供を行う。これらの事業は、相互の連携に努めるとともに、放課後子どもプラン運営委員会で随時検証を行い、更なる充実を図る。

H29予算額	377	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	301	H30予算額	448

H29年度の具体的取り組み

①夏休み子ども教室を豊田小、緑ヶ丘小、鶴枝小、中の島小、茂原小の5校で実施する。

DO(実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を簡条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ・豊田小学校 7/24～7/28(平日5日間) 9:30～11:30(延べ229人参加) 定員50名、申込者数52名
- ・緑ヶ丘小学校 7/31～8/4(平日5日間) 9:30～11:30(延べ156人参加) 定員50名、申込者数43名
- ・鶴枝小学校 8/2～8/4(平日3日間) 9:30～11:30(延べ213人参加) 定員なし、申込者数86名
- ・中の島小学校 8/21～8/25(平日5日間) 9:30～11:30(延べ134人参加) 定員40名、申込者数36名
- ・茂原小学校 8/21～8/25(平日5日間) 9:30～11:30(延べ132人参加) 定員40名、申込者数35名

CHECK(評価) 数値目標とその成果

(38) 夏休み子ども教室開設場所 目標: 7カ所 成果: 5カ所	H29数値目標
	5カ所

担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 (評価の根拠) 学童クラブからの参加児童数(実数):41名(内訳 豊田小30名、緑ヶ丘小2名、中の島小4名、茂原小5名)、学童クラブからの参加率(学童からの参加者/子ども教室申込者):41/252=16.3%
 (課題・問題点) 実施校数の拡大が課題。今後2年に1校ずつ増やす計画。

推進委員会による2次評価とその理由

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 (評価の根拠) 数値目標を達成している。
 (課題・問題点) 平成32年までに7カ所まで拡大できるよう、場所及び人材等の確保について工夫して努力されたし。

ACT(改善) 次年度における取り組み(予定)

「放課後子ども教室推進事業」において実施する夏休み子ども教室に学童クラブの児童を受け入れ、学習・体験プログラムを提供することにより、児童の健全育成を支援する。29年度に実施した豊田小、緑ヶ丘小、鶴枝小、中の島小、茂原小に新たに本納小を加えた6校で実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	40(子)	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	子育て支援課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	引き続き、各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施する。

P L A N (計画)	事業の概要
	少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施するなど、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。

H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	0	H30予算額	0

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み
	①各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施する。

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施した。また、東郷保育所、豊田保育所、町保保育所、朝日の森保育所において公開保育を実施した。 公開保育実施日2月19日～20日、参加人数47組(うち父子1組) (H28の実施も連続2日間のみ)

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H28数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 公開保育には、子育て世代から親子同伴での参加があり、参加者の保育の質の向上に寄与できた。 (課題・問題点) 公開保育を実施した4保育所とも2日間のみ開催であったが、さらに多くの方に参加してもらうため、開催内容及び開催回数を検討する必要がある。

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割～7割)	(評価の根拠) 公開保育について、昨年度と同様の開催回数であるので、回数及び質の向上について検討されたし。 (課題・問題点) 園庭の開放や相談についても数値目標を定め、成果を記入して欲しい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	引き続き、各保育所において、保育に関する相談及び園庭の開放を実施するとともに、公開保育の充実を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	40(学)	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	公立幼稚園・保育所における子育て支援と地域開放の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	学校教育課	施策の方向	Ⅳ-1(2)子育て支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	公立幼稚園4園において、H28年度と同様「子育てふれあい広場」、相談事業、預かり保育等を行う。

P L A N (計画)	事業の概要
	少子化への対応を進めるため、幼稚園及び保育所機能を生かした子育て支援事業を実施するとともに、家庭のあり方が変化する中での子育てと仕事の両立を支援するため、保護者の立場に立った子育て支援を行う。各幼稚園で「子育てふれあい広場」を年間を通じて実施するなど、親同士の交流の場の提供、園庭開放、相談事業を実施するとともに預かり保育を実施する。各保育所において、園庭開放及び相談事業を実施する。

H29予算額	320	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	320	H30予算額	240

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み
	①子育て支援事業「子育てふれあい広場」を各園で年間を通して、定期的実施 ②講演会の開催、園の開放、相談事業を実施 ③預かり保育の実施

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	①「子育てふれあい広場」の開催 各園6回/年(872名:4園合計) ②講演会(9回:4園合計)、園庭開放(各園週2~4回)、相談事業の実施 ③預かり保育の実施

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標
	(39) 公立幼稚園における預かり保育の人数 目標:1日6人~17人 成果:20人	1日20人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 保護者や地域の様々なニーズに応えるため、各幼稚園において「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を実施することにより、開かれた幼稚園づくりの推進を図ることができた。 (課題・問題点) 特になし

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 引き続き、多様化するニーズに応えられるよう、努力されたし。数値目標について、「1日20人」とは最大値なのか平均なのか示した方がいい。

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	公立幼稚園3園において、「子育てふれあい広場」、「預かり保育」などの子育て支援事業を、引き続き実施する。 (中の島幼稚園が閉園のため、3園となる)

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	41	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	高齢者の総合相談窓口の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ-1(3)介護支援の充実

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

高齢者の増加や認知症高齢者の増加が見込まれる中、地域包括支援センターが中核的な役割を果たし、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、継続的な支援を実施する。

PLAN (計画) 事業の概要

高齢者にとって身近な相談窓口となる地域包括支援センターを日常生活圏域ごとに設置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が中心となり、地域で暮らす高齢者を介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支える。各地域住民へ、地域包括支援センターを広く周知し、相談窓口の充実に努める。

H29予算額	61,200	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	61,200	H30予算額	71,799

H29年度の具体的な取り組み

- ①市内4箇所の地域包括支援センターで、生活や健康の相談等に応じることで高齢者が地域で安心して生活できるよう支援を行う。
- ②認知症予防や認知症施策の推進を図る。
- ③介護予防の啓発として市が推奨する「もばら百歳体操」の周知活動を行う。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①市内4箇所の地域包括支援センターで、高齢者の相談業務を実施した。総合相談件数(H29.4～H30.1までの延件数 直営:1,212件、みなみ:1,287件、ほんのう:503件、ちゅうおう1,649件)(参考:H28.4～H29.1までの延件数直営:1,833件、みなみ:1,353件、ほんのう:388件、ちゅうおう1,510件)。
- ②市内4つの日常生活圏域で相談会を開催。タブレット端末によるMCIの簡易テスト等を実施し、77名の参加があった。また、認知症施策の推進として認知症ケアパスを作成した。
- ③「もばら百歳体操」の周知活動を実施し、市内全域で16の自主グループが立ち上がった(H30.2時点)。

CHECK (評価) 数値目標とその成果

H29数値目標



担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 (評価の根拠) 平成29年度に計画した取り組みに対して、計画通り実施し、相応の成果をあげることができた。
 (課題・問題点) 今後も高齢化率の上昇や認知症高齢者等の増加が予測されることから、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域包括支援センターが中核となり、関係機関や地域住民と協働・連携をはかり、対応していく必要がある。

推進委員会による2次評価とその理由

A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)
 (評価の根拠) 認知症ケアパスの作成や「もばら百歳体操」の16の自主グループの立ち上がりなど、計画通りに実施し、成果を出している。
 (課題・問題点) 評価基準となる数値目標を設定して欲しい。

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

高齢化率の上昇や認知症高齢者の増加が見込まれる中、地域包括支援センターが中核的な役割を果たし、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、継続的な支援を実施する。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	42	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	認知症高齢者と家族等への支援の充実	主要課題	Ⅳ-1 家庭における男女共同参画
課係名	高齢者支援課	施策の方向	Ⅳ-1(3)介護支援の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	①小学校での認知症サポーター養成講座の開催を2校とする。 ②市役所職員に対して認知症サポーター養成講座を開催する。 ③ほっとみまもり隊加入率を受講者の30%まで引き上げる。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	認知症の方とその家族が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する「認知症サポーター」の養成を図ると同時に、サポーターとしての支援活動に賛同した方を「ほっとみまもり隊」に登録し、「ほっとみまもり運動」を実施していく。また、サポーター養成講座の講師になれる認知症キャラバン・メイトを増やし、地域での活動を広げる。		

H29予算額	559	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	189	H30予算額	475

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①小学校での認知症サポーター養成講座の開催を2校とする。 ②市役所職員に対して認知症サポーター養成講座を開催する。 ③ほっとみまもり隊加入率を受講者の30%まで引き上げる。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①小学校での開催は継続している1校のみで目標を達成できていない。(参加人数:女性46人、男性38人)(H28は1高 ②今年度市職員へは実施が出来なかった。 ③ほっとみまもり隊加入率は18%と目標達成できない。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(40) 認知症サポーター養成講座受講者数 目標:延べ2,000人以上(年400人以上) 成果: 226人 女性:142人 男性:84人 開催回数10回		年400人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 今年度は、開催回数、参加者数、ともに少なく、目標も達成できていない。小学校での実施は1校のみで目標達成できず、市職員への実施も今年度はできなかった。また、ほっとみまもり隊の加入率も18%で目標の半分程度となっている。 (課題・問題点) 今後は周知や働きかけを行い、小学校や市職員への実施を増やすとともに、ほっとみまもり隊の加入も増やしていく。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	C:事業の対象の見直しが必要(達成度3割以下)	(評価の根拠) 担当課の評価と同じ、認知症サポーター養成講座の開催回数及び参加者数、ほっとみまもり隊の加入率について、目標を達成できていない。 (課題・問題点) 認知症サポーター養成講座の開催について、小学校以外に、中学校や高校での開催も検討されたし。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	①認知症サポーター養成講座の周知活動を行う。 ②ほっとみまもり隊の加入率を受講者の20%にする。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	43	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市民へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	企画政策課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	引き続きワーク・ライフ・バランスについて市民向けに情報提供していく。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについて、講演会や講座のテーマに取り入れ市民への意識啓発を図るとともに、広報・ホームページなどを活用し、市民一人ひとりが人生の各段階に応じて多様な働き方の選択ができるよう情報提供を行う。		
	H29予算額	H29予算額(再掲の場合)	736
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①市ホームページのワーク・ライフ・バランスの情報を更新した。 ②講座(ワールドカフェ形式)の開催(11月10日)【参加者44名(男14、女30)】 演題:「働き方改革と男女共同参画」 講師:萩原なつ子氏(立教大学大学院 21世紀社会デザイン科教授) ※内閣府「地域における男女共同参画促進を支援するためのアドバイザー派遣事業」を利用		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) ワーク・ライフ・バランスについて、市ホームページや講演会にて周知・意識啓発を図った。 (課題・問題点) アンケートの実施等、情報提供や講演会の効果について目に見える評価基準がない。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 市ホームページの更新、講座の開催など周知・意識啓発を図っている。 (課題・問題点) 引き続き分かりやすい情報提供に努められたい。また、アンケートを活用し、ターゲットに即した講座や講演会を開催されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	市ホームページやリーフレットの配布を通じてワーク・ライフ・バランスについて効果的に情報提供する方法を検討するとともに、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会開催等を開催し、実践に結びつくようにする。		


茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	44	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	事業所へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	商工観光課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、公式HP上でさらに見やすいものとし効果的に発信する。また、中小企業向けの講演会、優良企業の認定や表彰制度など市独自の施策を検討する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	関係機関と連携しワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努めるとともに、広報・ホームページなどを活用し「県男女共同参画推進事業所表彰制度」の周知を行い、企業等の積極的な取り組みを促進する。また、各事業所において長時間労働の是正や育児・介護休業取得率向上等の両立支援の取り組みが促進するよう啓発を実施する。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①茂原商工会議所が開催する会議等や、ハロワーク茂原と市が共催するセミナーにおいて、パンフレット等を配布し、事業所における取組みの推進に努めた。 ②本市独自の具体的な促進施策の企画・立案にいたっていない。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 例年どおりの取組みにとどまり、積極的な事業実施が展開できていない。また、市独自の取り組みを立案する前に、まず国の認定制度などの周知に努める必要がある。 (課題・問題点) 市の取組みは、国・県等の情報提供と周知が主となり、事業所における問題や成果について把握していない。また、国・県等の施策に関する情報についても、HP上での表示を工夫し効果的に発信する必要がある。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 国県の取り組みの紹介が来ている。 (課題・問題点) 様々な機会を活用し、市内事業所の状況把握に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	国・県等の施策に関する情報を、公式HP上でさらに見やすいものとし効果的に発信する。また、積極的に取り組む企業名や、その取り組みなどを公式HP上で発信する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	45	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	市職員へのワーク・ライフ・バランスの推進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	職員課	施策の方向	Ⅳ-2(1)ワーク・ライフ・バランス意識の浸透

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	各所属において、3か月毎の年次有給休暇等(その他の休暇を含む)の取得予定表を作成し、各所属職員間での、業務予定調整・休暇調整を実施する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	市職員自らワーク・ライフ・バランスを実践できるよう、意識啓発を行うとともに、各種休暇・休業制度及び育児・介護休業制度が男女ともに偏りなく活用できるよう情報提供を行う。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額 0
H29年度の具体的取り組み			
①茂原市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画に基づき、超勤勤務の縮減を推進することで、職員一人ひとりが意欲的に仕事に取り組みながら、健康で豊かな生活のための時間を確保し、健康管理と公務能率の維持向上を図る。			
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①ワーク・ライフ・バランスの確保について、従来より行っている「ノー残業デー」実施や、「時間外勤務は必ず所属長が直接命令すること」を徹底した。 ②特定事業主行動計画に基づき、女性活躍推進法に基づく女性の職業選択に資する情報及び実施状況をホームページで公表した。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
			
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 茂原市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画に基づき、ワーク・ライフ・バランスを実践できるように意識啓発を行った。 (課題・問題点) 特定事業主行動計画に基づき、超過勤務の縮減を推進しているが、時間外勤務は増加している。	
推進委員会による2次評価とその理由			
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 意識啓発や周知を図っている。 (課題・問題点) ワーク・ライフ・バランスの実践について、意識啓発だけではなく、時間外・各種休暇・休業制度等の周知の徹底に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	各所属において、3ヶ月ごとの年次有給休暇等の取得予定表を作成し、各所属職員間での業務予定調整・休暇調整を実施する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	46	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における女性グループ活動の支援と女性起業の育成	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	県や麦の会と連携をとることにより女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	女性農業者グループ「麦の会」が郷土料理や地元農産物をPRすることにより、地産地消や食育への取組みを促進する。女性農業者に県主催の起業講座や研修会を通して知識や技術を向上してもらい女性起業者を育成するとともに、6次産業の補助金制度等の情報提供により女性の起業を推進する。		

H29予算額	162,000	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	124,848	H30予算額	162,000

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	<p>①「もばらふるさと塾」において、市内で活躍している農業者や「麦の会」との交流したり、直売所に行ってもらうことで農業や起業に対する意識を高めてもらう。</p> <p>②市内の女性農業者に各種講座や研修会に参加してもらうことで知識や技術を向上してもらう。</p> <p>③起業を目指す女性に対し6次産業の補助制度等の情報提供を行う。</p>		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<p>①「もばらふるさと塾」において、市内で活用で活用している農業者や「麦の会」との交流したり、直売所に行ってもらうことで農業や起業に対する意識高めてもらう。</p> <p>②市内の女性農業者に各種講座や研修会に参加してもらうことで知識や技術を向上してもらう。</p> <p>③起業を目指す女性に対し6次産業の補助制度等の情報提供を行う。</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(41) 女性の農業起業家数 目標:5人以上 成果:1人、延べ2人		年1人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 「もばらふるさと塾」を開催することで、地元野菜や直売所をPRするとともに、協力頂いてる「麦の会」や市内農業との交流により農業に対する関心を深めて頂いた。また、研修会を通して県とともに女性農業者や女性起業家の育成を支援した。</p> <p>(課題・問題点) 農業における起業や6次産業化に関心のある女性の掘り起こしが難しい。</p>	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) もばらふるさと塾、各種講座や研修会を開催し、女性農業者と起業者の支援を行っている。また、数値目標もクリアしている。</p> <p>(課題・問題点) 引き続き県や麦の会などと連携し、女性農業者や起業者の育成に努められたい。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	県と麦の会と連携をとることにより女性農業者や女性起業者の育成を推進していく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	47	基本目標	Ⅳ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
事業名	農業における家族経営協定締結の促進	主要課題	Ⅳ-2 労働の場における男女共同参画
課係名	農政課	施策の方向	Ⅳ-2(4)農業・自営業等における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	締結によるメリットの説明等により、県と協力し家族経営協定の締結を推進する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	農業経営について、特に夫婦の場合女性の役割や労働時間、労働報酬などの就業条件が曖昧になりやすいことから、経営方針や役割分担、働きやすい就業環境などについて家族間合意の上「家族経営協定」の締結を促進し、それぞれが主体的に経営に参画できる環境の整備及び農業経営の改善につなげていく。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①県と協力し認定農業者の更新時や新規就農者の認定時を中心に説明をすることで家族経営協定の締結を推進する。		
C H E C K (評価)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	家族経営協定が新たに2件締結された。また、県と協力し研修会等を通じて締結の推進を行った。 平成29年6月27日 平成29年度男女共同参画地域セミナー 平成29年度農山漁村男女共同参画長生地区推進会議		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(42) 家族経営協定の新規締結数 目標:5件以上 成果: 2件、延べ 3件 (平成14年以降総数21件の締結)		年1件
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 家族経営協定の締結が2件行われ、目標を達成した。 (課題・問題点) 農業経営は家族で行っている場合が多く見受けられ、改めて家族経営協定を締結するまでに至らない。	
A C T (改善)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標をクリアし、成果を上げている。 (課題・問題点) 家族経営協定の内容を理解してもらい、古くから農業を行っている方々への意識改革に努められたい。	
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	認定農業者の認定更新時に、家族経営協定の内容説明をすると共に、各種講演などの意見交換を行い、家族経営協定の締結を推進する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	48	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	高齢者の自主活動への支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	高齢者支援課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

ACT(改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

- ・高齢者が増加するなか、会員数も増加するよう、積極的な勧誘に努め、活発な活動を展開する。
- ・引き続き、市バスの予約を行い、送迎手段の確保に努める。
- ・若手委員会の各種行事をHPで紹介したり、積極的な取り組みを行う単位クラブを広報誌で紹介する等、新たな仲間づくりと各地域での活動の活発化を図る。

PLAN(計画) 事業の概要

各種スポーツや文化活動、友愛活動、社会奉仕などを通し、仲間づくりの中で、男女がともに楽しく健康に過ごし、社会に貢献することを目的とする長寿クラブ等の自主活動に対し支援を行い、活動の活性化を図る。また、地域で自主的に行われている健康づくり活動等と連携し、運動教室や介護予防教室等を開催することで、支援の一層の充実を図る。

H29予算額	2,527	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	2,390	H30予算額	2,491

PLAN(計画) H29年度の具体的な取り組み

平成29年4月1日現在の会員数は、男性952名に対し女性1,211名となっており、女性委員会としての活動も活発に行っている。このような状況を踏まえ、引き続き会員の加入促進運動を進めるとともに、連合会としての活動や会員・クラブ間の交流を充実させ、男女問わず様々な意見を取り入れながら、魅力あるクラブづくりへの支援に努める。

DO(実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①総会・大会・運営委員などの会議、ペタンク・グラウンドゴルフなどのスポーツ活動(毎月)、芸能大会・カラオケ大会など(年4回程度)の文化活動など、幅広い活動を広げている。
- ②若手委員会を発足させ、月1回開催。長生地区若手委員会会議へも参加し情報交換。男女隔たりなく新たな会員加入にむけて、HPに活動紹介や会員募集の掲載を始めた。運動会等各種行事の運営方法を話し合い、運営のサポートを行っている。

CHECK(評価) 数値目標とその成果

(43) 茂原市長寿クラブ連合会の会員数	目標:3,000人以上 成果:2,201人 (4/1現在2,163人+中途加入38名 11/30現在)	H29数値目標 年86人増
----------------------	--	------------------

CHECK(評価) 担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 各種活動が継続的に実施されている。会員の健康増進につながっている。若手委員会を立ち上げ、後継者の育成と新たな会員加入促進として、HPを活用した取り組みを始めた。
	(課題・問題点) 今後も会員の高齢化が進むなか、新規若手会員の入会促進の強化及び役員の後継者の育成が課題である。各種行事を開催するにあたり、車や自転車で移動ができない高齢者に対して交通手段が不足している。バスの送迎等、移動手段の確保が課題。

CHECK(評価) 推進委員会による2次評価とその理由

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 若手委員会を立ち上げ、ホームページで活動紹介や会員募集を始めるなど、工夫して取り組まれている。
	(課題・問題点) より多くの方が参加できるように送迎手段の確保、またホームページ以外での広報活動にも努められたい。

ACT(改善) 次年度における取り組み(予定)

- ・高齢者が増加するなか、会員数も増加するよう、積極的な勧誘に努め、活発な活動を展開する。
- ・引き続き、市バスの予約を行い、送迎手段の確保に努める。
- ・各種行事をHPで紹介したり、積極的な取り組みを行う単位クラブを広報誌で紹介する等、新たな仲間づくりと各地域での活動の活発化を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	49	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の地域生活支援の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	H28年度と同様に取り組む。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	障害のある人もない人も共に暮らせる地域づくりという考えのもとに、障害者と介護者のための障害福祉サービスや地域生活支援事業を充実し、「介護は女性の役割」という社会通念を是正し、社会で支える介護の推進を図る。		
	H29予算額	226,874	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	247,914	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	H29年4月からH30年1月までの各サービスの総延利用人数 2,227人 内訳 居宅介護:709人 短期入所:303人 同行援護:62人 放課後等デイサービス:797人 日中一時支援247人 移動支援:109人		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 個々のケースに対し適切な障害福祉サービスの提供、および地域生活支援事業を実施し、支援体制を整えることで社会で支える介護の推進を図ることができた。 (課題・問題点)	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 女性の負担の軽減、女性の社会進出の推進を図っている。 (課題・問題点) 新たな個々のケースに対応し、適切なサービスの提供に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H29年度と同様に取組む。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	50	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	障害者(児)の相談事業の充実および社会復帰の促進	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	障害福祉課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)
	H28年度と同様に取り組む。

P L A N (計画)	事業の概要
	障害福祉サービスの利用に必要な情報の提供や助言、支援を行うとともに、地域生活支援センターと連携し、身体障害者相談員、知的障害者相談員および保健師等による全ての障害に対する相談支援体制の充実、社会復帰に向けての支援の促進を図る。

H29予算額	11,622	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	11,622	H30予算額	11,651

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み
	<p>①障害者(児)の日常生活等相談、各種福祉サービスの提供。</p> <p>②長生地域活動支援センター、生活支援センターつくも、障害者相談員、保健師等により、全ての障害(身体・知的・精神・児童)に対する電話・窓口相談や家庭訪問等の支援を実施。</p>

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)
	<p>H29年4月からH30年1月までの延相談件数 4,543件</p> <p>内訳 長生地域生活支援センター:2,954件 障害者相談員:403件</p> <p>生活支援センターつくも : 581件 保健師 :605件</p>

C H E C K (評価)	数値目標とその成果	H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点	
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)</p>	<p>(評価の根拠) 全ての障害に対する相談支援体制の充実を図ると共に、障害者(児)を持つ家族等が抱えている問題を相談事業にて整理することで、障害福祉サービス等の利用に結び付け、社会で支える介護の推進を図ることができた。</p> <p>(課題・問題点)</p>

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由	
	<p>A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)</p>	<p>(評価の根拠) 相談体制の充実により、ニーズに合わせたサービスの提供につながっている。</p> <p>(課題・問題点) 引き続き関係機関と連携を図り、利用者ニーズの把握に努めるとともに、サービスの利用につなげていただきたい。</p>

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)
	H29年度と同様に取組む。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	51	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	精神保健相談の実施および社会復帰の支援	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-1(1)高齢者・障害者施策の充実

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けの研修の実施 ・特定健診、がん検診時での効果的な普及啓発実施 ・民生委員協議会におけるミニ講話の実施 ・新生児訪問、乳幼児健診においてフォローする家庭を把握し、継続支援につなげる。 			

P L A N (計画)	事業の概要		
	保健師による「健康相談」や各種健(検)診を通じて、精神疾患を持つ方をはじめとした自殺予防等のための相談を充実させるとともに、精神科病院・保健所等の各相談専門機関や専門家等との連携をはかり、こころの健康づくりの支援に努める。		

H29予算額	21,560	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	20,518	H30予算額	426,750

P L A N (計画)	H29年度の具体的な取り組み		
	①職員向けの研修の実施 ②特定健診、がん検診時での効果的な普及啓発実施 ③民生委員協議会におけるミニ講話の実施 ④新生児訪問、乳幼児健診においてフォローする家庭を把握し、継続支援につなげる。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①職員向けに「ゲートキーパー養成講座」として、【基礎編】【応用編】を実施できた。 ②メンタルヘルスに関するリーフレットを各検診で配布した。 ③協議会参加自体が叶わず、地域での講話の機会を捉えることができなかった。 ④新生児訪問にてEPDS(エジンバラ産後うつ病自己評価表)を実施し、再訪問を実施。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	①職員研修会を受講し、ゲートキーパーの役割を理解した職員数 成果:53人 (H28成果:45人) ②各健康教育等でのゲートキーパーに関するミニ講話の実施回数 成果:0回 (H28成果:2回)		①50人×2回 ②7回

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 職員向けのゲートキーパー養成講座については前年度は基礎編のみの実施であったが、今年度は基礎編の他に応用編を実施できた。また、産婦に向けてはEPDSの指標を使用することで、継続支援に繋げることができた。 (課題・問題点) 地域での出前講座のメニューとして、選択されることがなく、PR不足も考えられる。地域での各種団体における教育の機会を積極的に把握することができなかった。また、妊産婦におけるメンタルヘルス対策として、EPDS等では評価が難しいケース(精神疾患)のフォロー体制強化が必要。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 担当課に同じ。 (課題・問題点) 様々な機会・方法を活用したさらなる周知と、相談窓口を増やすなど相談体制の強化に努められたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
<ul style="list-style-type: none"> ・職員向けゲートキーパー講座を「基礎編」「応用編」で継続して実施。 ・特定健診、がん検診時や、各団体での効果的な普及啓発の実施。 ・新生児訪問、乳幼児健診においてフォローする家庭を把握し、継続支援に繋げる。 ・専門職を活用とした妊産婦メンタルヘルス相談、こころの健康に関する相談を新設。 			

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	52	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	男女共同参画の視点を取り入れた防災対策の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	機会があるごとに周知を実施する。新たな環境整備に努める。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	災害時の避難所における男女のニーズの違いを考慮し、女性や要配慮者に配慮した取り組みを進め、地域防災力の向上に努める。		
	H29予算額	8,059	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	7,929	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①防災訓練により、避難所の考え方や設備について啓蒙を図る。 ②備蓄の更新、拡充において要配慮者に必要な物品を考慮する。			
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①平成29年10月1日に実施した地域防災訓練において、参加者400名に対して避難所運営についての考え方や備蓄品等について啓発を行った。 ②アレルギー対応粉ミルクの更新及び要配慮者も使用できる組み立て式簡易トイレを購入した。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 地域防災訓練において、女性の積極的な参加があった。また、避難所運営においては、女性の視点が必要であることを説明した。 (課題・問題点) 各避難所の防災備蓄倉庫内に哺乳瓶や更衣室用のテント等を備蓄しているが、まだまだ数が足りない。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 担当課と同じ。 (課題・問題点) 引き続き避難所運営についての考え方の周知や、テント等備蓄品数の確保に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	機会があるごとに周知を実施する。新たな環境整備に努める。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	53	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自主防災組織の育成	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	総務課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)					
	女性が身近に感じる防災活動の講話等を行い、自主防災組織への女性の参画を促す。					
P L A N (計画)	事業の概要					
	平常時および災害発生時に住民自らが被害を防止・軽減するために、地域全体の安全を守る活動を行う自主防災組織について、既存の自治会単位での設立を推進する中で、男性だけでなく女性の参画も促し、育成を図ります。					
	H29予算額	1,865	H29予算額(再掲の場合)			
	H29決算見込額	1,490	H30予算額	1,145		
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)					
	①自主防災組織リーダー研修会開催(H30.2.4 参加者83名うち女性6名) ②防災資機材の追加購入に対する補助については、資機材の選定にあたり女性の視点も取り入れるよう口頭で説明。(9件:トランシーバー、発電機、消火器等) ③出前講座においては、自主防災組織の必要性や避難所運営には女性の視点を取り入れることが必要だと講義した。					
	<table border="1"> <tr> <th>数値目標とその成果</th> <th>H29数値目標</th> </tr> <tr> <td>(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上 成果: 7団体</td> <td>9団体</td> </tr> </table>			数値目標とその成果	H29数値目標	(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上 成果: 7団体
数値目標とその成果	H29数値目標					
(44) 自主防災組織の新規設立 36団体以上 成果: 7団体	9団体					
C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点					
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 自主防災組織リーダー研修会において、女性リーダーの参加を呼びかけたところ、6名の参加があり、積極的に研修に臨んでいた。 (課題・問題点) 自主防災組織が自治会を母体としていることから、元々女性の参加が少ない傾向にある。災害時の避難所運営には女性の視点が重要であることを出前講座等で周知していく必要がある。				
	B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割)	(評価の根拠) 数値目標は達成できなかったが、自主防災組織リーダー研修会において女性の参加があった。 (課題・問題点) 引き続き女性の視点を取り入れることの重要性について、周知に努められたい。また、新規設立団体に対して今後のフォローアップに努められたい。				
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)					
	災害時の避難所運営には女性の視点が重要であることを防災訓練や出前講座等のあらゆる場で周知し、自主防災組織への女性の参画を促す。					

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	54(生)	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	生活課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	地域の防犯活動を男女が共に担い、参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市ホームページ等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		
	H29予算額	354	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	348	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①自主防犯団体を育成し、活動の助成を行う。 ②防犯組合、自治会等と協力し、自主防犯団体の結成を促進する。 ③防犯パトロールを実施する。			
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①自主防犯団体の活動把握及び活動保険の加入をした。(38団体1,138人) ②茂原市防犯組合へ補助金を交付し、活動の推進を図った。 ③安全安心パトロール(青パト)については事業者へ委託し、採用にあたっては男女平等に機会を与えている。その他パトロールについても男女平等に機会を与え、参加を促した。		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 市の犯罪認知件数は、暴行、恐喝、出店荒らし、その他侵入盗等が増加したが、昨年に比べ235件、約23%の減であった。活動時間の制約があり、犯罪認知件数の増減から効果を評価することは難しいが、各地域で各団体が活発な活動をしており、効果があったと考えられる。 (課題・問題点) 防犯活動という性格上、活動の中心が男性であるため、幅広い年代の男女の参画を促すことが課題である。	
	推進委員会による2次評価とその理由		
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 自主防犯団体の活動保険に加入、防犯組合へ補助金を交付するなど活動の推進が図られている。また、市の犯罪認知件数も減少している。 (課題・問題点) 男女の役割分担を行い、女性でも参加しやすい防犯活動に努められたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	地域の防犯活動を男女が共に担い、参加を図るために、防犯組合、自治会と協力し、また広報や市ホームページ等で、より身近な防犯組織としての自主防犯団体の育成と結成を促進する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	54(学)	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	地域防犯体制の充実	主要課題	V-1 安心して活動できる環境の整備
課係名	学校教育課	施策の方向	V-1(2)防災・防犯における男女共同参画の促進

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	H29年度も同様の取り組みを行う。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	住民自らが「自分たちの住む地域の安全は自分たちで守る」という強い連帯意識で実施している地域防犯活動について支援を行い、男女がともに担うことにより、地域防犯力の向上を図る。		

H29予算額	139	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	139	H30予算額	139

P L A N (計画)	H29年度の具体的取り組み		
	①下校時間に地域で児童生徒を見守る「わん！だふるタイム」を周知 ②学校ボランティアに登録した方に対し、不測の事態に備え、学校支援ボランティア保険に加入 ③学校、家庭、地域連携により、子どもの安全を守る		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①月、金曜日の午後3時に、防災無線での呼びかけ。(小中学校の休業期間を除く。) ②市ウェブサイトでの啓発。 ③広報等での周知。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 男女を問わず、多くの市民の協力を得て、子供たちの見守り活動が実施されている。犯罪の防止、抑止に有効な活動であるものと考えており、今後も継続していく。 (課題・問題点) 「わん！だふるタイム」の放送時間帯以外においても、男女を問わず、また、幅広い世代の方々の参画が必要であると考え。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 防災無線、市ウェブサイト、広報等により「わん！だふるタイム」の周知が図られている。 (課題・問題点) 引き続き、学校・家庭・地域の連携により、一層の見守り活動に努めてもらいたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H30年度においても、継続して同様の取り組みを実施する。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	55	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	自らの健康を自ら管理する意識づくりについての啓発	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

ACT (改善) H28年度末における次年度における取り組み(予定)

各種検診について、ホームページや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めるとともに、検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPRなど、あらゆる機会を活用し、健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への再勧奨等により受診率の向上を図る。

事業の概要
 疾病の早期発見を目的とした各種検(健)診の受診勧奨と健康相談、健康教育など疾病予防に向けた保健事業を推進する。
 また、女性特有のがんの早期発見及び受診率が低い男性への啓発を図ることで、男女ともに生涯健康でいられる社会づくりに努める。

H29予算額	98,964	H29予算額(再掲の場合)	99,102
H29決算見込額	99,069	H30予算額	96,310

PLAN (計画) H29年度の具体的取り組み

- ①肝炎ウイルス検診について、年齢制限を撤廃し、40歳から75歳の5歳刻みの方を対象に個別勧奨を実施。
- ②肺がん検診 40・60歳の方へ「受診票」及び「各種検診のお知らせ」を郵送し個別勧奨を実施。
- ③胃がん検診 40歳の方への通知、60歳の方へ「受診票」を郵送し個別勧奨を実施。
- ④大腸がん検診 40・60歳の方へ「検査容器」を郵送し個別勧奨を実施。
- ⑤子宮がん検診未受診者等(新規20歳、25・30・32・34・36・38歳)及び乳がん検診未受診者等(新規40歳、45・50・55・60歳)への無料クーポン券の配布。
- ⑥骨検診 50歳の方への個別勧奨を実施。
- ⑦未受診者への再勧奨を実施。
- ⑧特定健診及びがん検診会場にて、がん検診受診の促進及び申し込みブースを設置。
- ⑨広報・フェイスブックでの周知及び「各種検診のお知らせ」の毎戸配布。
- ⑩出前講座等を活用した普及啓発活動の実施。
- ⑪健康意識の向上を図るため、他課と連携した普及啓発活動を実施。

DO (実施) H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)

- ①肝炎ウイルス検診について、年齢制限を撤廃し、40歳から80歳の5歳刻みの方を対象に個別勧奨を実施。(未受診者)
- ②肺がん検診について、新規40歳及び45・50・55・60歳の未受診者に「受診票」と「各種検診のお知らせ」を郵送し個別勧奨を実施。
- ③胃がん検診について、新規40歳及び45・50・55・60歳の未受診者に「受診票」と「検査キット」を郵送し個別勧奨を実施。
- ④大腸がん検診について、新規40歳及び45・50・55・60歳の未受診者に「受診票」と「各種検診のお知らせ」を郵送し個別勧奨を実施。
- ⑤子宮がん検診について、新規20歳及び25・30・32・34・36・38歳の未受診者へ無料クーポン券を配布。
- ⑥乳がん検診について、新規40歳及び45・50・55・60歳の未受診者への無料クーポン券を配布。
- ⑦特定健診及びがん検診会場にて、がん検診受診の促進及び申し込みブースを設置。
- ⑧「各種検診のお知らせ」の毎戸配布。
- ⑨出前講座等を活用した普及啓発活動の実施。
- ⑩健康意識の向上を図るため、他課と連携した普及啓発活動を実施。

数値目標とその成果	H29数値目標
(45)がん検診の受診率50%(国の目標) 成果:肺がん10.1%、胃がん5.1%、大腸がん9.9%、子宮がん7.2%、乳がん20.4% (H28成果:肺がん8.9%、胃がん5.2%、大腸がん10.1%、子宮がん6.5%(見込)、乳がん20.6%)	各1%増/年

CHECK (評価) 担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 様々な機会・方法を活用して勧奨を実施し、各種検(健)診に対する意識啓発及び受診勧奨に努めた。
 (課題・問題点) 各種がん検診について対象者の増加に反して受診率は伸び悩んでいる。

推進委員会による2次評価とその理由

B:ある程度の成果をあげた(達成度4割~7割) (評価の根拠) 担当課に同じ。
 (課題・問題点) 受診日、受診会場、時間帯などの工夫により、受診率の向上に努められたい。

ACT (改善) 次年度における取り組み(予定)

各種検診について、ホームページや広報の他、自治会を通じて「各種検診のお知らせ」を毎戸配布するなど周知に努めるとともに検診会場・市民健康講座・出前講座等におけるPRなど、あらゆる機会を活用し健康についての意識啓発及び受診勧奨に取り組む。また、同時受診の拡充による利便性の向上及び未受診者への個別勧奨・再勧奨等により受診率の向上を図る。

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	56	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	人生の各段階に応じた健康相談と家庭訪問の実施	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	自主サークルが、ままのわやママ・パパ教室と同時に開催することで、妊産婦が交流できる仕組みづくりを実施している。次年度も自主サークルと共に事業を展開し、子育て支援の強化を図る。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	生涯健康に関して安心して過ごせるよう、妊娠期から高齢期の各々の状態に応じた健康相談や家庭訪問を行う。困難事例に対しては、他団体・他機関と連携をとり、支援する。		
	H29予算額	1,525	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	1,500	H30予算額
H29年度の具体的取り組み			
①妊娠～出産までの一貫した母子保健サービスを助産師と連携し、妊娠中の保健指導、産婦の健康教育を行う ②妊婦の夫に対して、出産後も積極的に育児参加できるよう健康教育を行う ③生涯を通じ、自己の健康を適切に管理・改善するために保健師、栄養士、歯科衛生士による健康教育・健康相談を行い、高齢者の健康支援をしていく。 ④電話・面接・家庭訪問を通じてあらゆる世代の人々の健康支援を行っていく			

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	※平成30年2月末時点 ①助産師相談:年22回実施、参加人数述べ 322人(男3人、女319人) ②ママ・パパ教室:年11回実施、参加人数述べ 351人(男 143人、女 208人) ③育児パパおとこ塾:年4回実施、参加人数述べ 102人(男 56人、女 46人) ④ままのわ:年15回実施、参加人数述べ170人(全員女)		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) H29年度より、新規事業として、産前産後サポートセンターにてままのわミニセミナーを実施。産後の母親の参加が増えた。ままのわでは、参加した母親の中から、自主サークルが立ち上がり、子育て中の母親が、支え合う場づくりを支援している。また、自主サークルと共にままのわミニセミナーや育児パパおとこ塾等を協働し、企画している。 (課題・問題点) 育児パパおとこ塾は男性の育児参加促進事業として、H27より実施しているが、父親だけで受講する者は少なく、母親と共に家族で参加するイベントとして実施している。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 定期的に教室を開催し、男性も参加しやすくなっている。 (課題・問題点) 引き続き、高齢者の方をはじめあらゆる世代の方に対して、健康支援に努められたい。		

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	自主サークルが、ままのわやママ・パパ教室と同時に開催することで、妊産婦が交流できる仕組みづくりを実施している。次年度も自主サークルと共に事業を展開し、子育て支援の強化を図る。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	57	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	市民参加の健康づくりの推進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	改選1年目となるので推進員の養成に重点を置き、研修会を通して健康づくりに関する正しい知識の普及に努める。また、仲間づくりをしながら自信とやりがいを持って普及活動が行われるように支援する。研修会年10回、普及活動14回を予定。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	市民が自主的に健康管理に努め、市民参加型の健康づくりを推進するため、地区組織である健康生活推進員の育成に努める。 健康生活推進員により、乳児から高齢者まで様々なライフステージを対象とした健康づくり料理教室、食育教室、運動教室、ウォーキング教室等を開催し、正しい健康知識の普及活動を積極的に行う。		

H29予算額	614	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	614	H30予算額	630

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	<p>①市民がより健康で元気になるために生活習慣病の予防 ～グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～ を目標に研修会を実施し、健康生活推進員として必要な知識を身につける。(年10回) (備考:健康生活推進員39人うち男性7人)</p> <p>②中央研修会で学んだことをウォーキング教室等運動教室、各種料理教室で普及活動として行っていく。</p> <p>③塩分測定家庭訪問など対話・訪問活動を積極的に行っていく。</p>		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<p>①市民がより健康で元気になるために生活習慣病の予防 ～グー・パー食生活と運動習慣の定着で健康づくり～ を目標に研修会を実施し、健康生活推進員としての知識を身につける研修会を実施。(9回・延べ295人出席)</p> <p>②普及活動としてウォーキング教室等運動教室を7回開催。(男10人、女107人参加) また、健康づくり料理教室等料理教室を8回開催。(男0人、女118人、児童74人)</p> <p>③塩分測定家庭訪問103軒</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	<p>(46) 健康教室等の開催回数 550回以上(年110回以上) H29成果:141回</p> <p>(47) 健康教室等の参加者数 延べ5,500人以上(年1,100人以上) H29成果:1352人</p>		<p>年110回以上</p> <p>年1,100人以上</p>

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 様々な機会・方法を活用して普及活動を行い、健康づくりに関する正しい知識の普及に努めた。</p> <p>(課題・問題点) 広報や自治会回覧、チラシによる参加者募集を行ったり、スタンプラリーを実施し教室参加を促したりしたが、延べ参加者数は伸び悩んでいる。</p>	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	<p>(評価の根拠) 正しい健康知識の普及活動に努めている。また、数値目標をクリアしている。</p> <p>(課題・問題点) 男性が参加しやすくなるよう、イベント内容等を工夫されたい。</p>	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	改選2年目となるので更なる知識と技術を身につけ、推進員相互の親睦を図りながら健康づくり活動が行われるように支援していく。また、仲間づくりをしながら自信とやりがいを持って普及活動が行われるように支援する。研修会年10回、普及活動17回を予定。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	58	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	スポーツを通じての健康増進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	体育課 体育振興係	施策の方向	V-2(1)生涯を通じた健康支援

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	H28年度に引続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室・市民体育祭やファミリースポーツまつり、タッチバレーボール大会等を開催する。また、H28年度から実施している茂原市スポーツ推進計画に関する新規事業も引き続き実施する。なお、幅広い年齢層の男女に均等に参加していただけるよう、主催教室の選定や市民体育祭などは各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	生涯スポーツの観点に立ち、市民誰もが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努める。また、市民がスポーツによる楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成などの精神的充足感を得ることができるよう、事業の充実に努める。開催にあたっては、土日や夜間に開催するなど、男女がともに参加する機会の確保に努める。		

H29予算額	11,719	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	11,233	H30予算額	9,595

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	<p>①各種スポーツイベントを開催し、誰もが気軽にスポーツに触れ合う機会を提供する。また、広報・ウェブページ・フェイスブックはじめ、民間情報誌等を活用しより多くの市民に情報提供を行い、老若男女が参加できるように努める。</p> <p>②スポーツ推進計画の策定に基づき、関係部署とより一層の連携を図り生涯スポーツの普及に努める。</p>		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	<p>①各種スポーツ教室:ジュニアバレーボール教室(12月17日(日))150人(男1人、女149人)、太極拳教室(火曜日:前後期各10回)1,200人(男11人、女109人)、ヨガ教室(金曜日:前後期各10回)1,940人(男9人、女185人)、美と健康づくり体操教室(木曜日:前後期各10回)900人(男0人、女90人)、ノルディックウォーキング教室(日曜日:4回)92人(男9人、女14人)エアロビクスダンス教室(月曜日:17回)663人(男0人、女39人)エンジョイスports(日曜夜間:計11回)582人(男73人女141人)、市民体育祭(8月20日~11月26日)23競技、実施3,695人(男女参加比:およそ5対5)、みんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり(5月21日(日))284人(男女参加比:およそ5対9)、タッチバレーボール大会(7月2日(日))145チーム、689人(男女参加比:およそ5対4)、茂原市スポーツレクリエーション祭(3月4日(日))491人(男女参加比:およそ5対6)</p> <p>②スポーツもばら(広報もばら内)年3回掲載。各種事業の開催に際しては、市ウェブページ、また民間情報誌等を活用し、より多くの市民に情報提供した。また、スポーツ情報掲示板の市民体育館および市役所への設置により、茂原市のスポーツ情報を発信した。(およそ隔月で情報を更新)</p>		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H28数値目標
	(48) スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数 700回以上(年140回以上) 成果:120回	(49) スポーツ・レクリエーション教室等の参加者数 延40,000人以上(年8,000人以上) 成果:10,686人	年140回 年8,000人

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 主催教室にあたっては、土日や夜間に開催するコースを設けることにより、市民誰もが参加する機会を確保することができた。また、茂原市発祥の新しいスポーツ、「タッチバレーボール大会」を開催した結果、参加者数の増加に繋がった。参加者の男女比については、教室によって偏る傾向が見られるが、老若男女誰もが参加できる、新たなスポーツ「タッチバレーボール大会」を開催することで、男女とも参加数が増加した。 (課題・問題点) 引続き老若男女誰でも気軽に参加できるよう、情報提供に努めたい。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 様々なイベントを開催し、参加人数の目標値もクリアしている。 (課題・問題点) 男性が参加しやすくなるよう、イベント内容等を工夫されたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	H29年度に引続き市民のニーズに沿うような各種スポーツ教室・市民体育祭やみんなでラジオ体操会&ファミリースポーツまつり、タッチバレーボール大会等を開催する。なお、幅広い年齢層の男女に均等に参加していただけるよう、主催教室の選定や市民体育祭などは各種団体と連携を図り、情報提供に努めたい。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	59	基本目標	V 男女がともにいきいきと活動できる環境づくり
事業名	勤労妊婦の母性健康管理対策の推進	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	次年度も継続して各種事業や電話、家庭訪問、窓口面接等において妊婦や産婦だけではなく夫等の周囲の方に対しても周知を図っていく。		
P L A N (計画)	事業の概要		
	妊娠、出産を理由とする不利益取り扱いを受けないよう、妊娠届出時、ママ・パパ教室、育児パパおとこ塾家庭訪問等においてリーフレットの配布と説明、相談先の周知をはかる。		
	H29予算額	0	H29予算額(再掲の場合)
	H29決算見込額	0	H30予算額
D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①妊娠届出時に全妊婦(490人)に対し、「母性健康管理指導事項連絡カード」の説明及び「働きながら安心して妊娠・出産を迎えるために」のリーフレットを配布した(H30年3月15日現在) ②ママ・パパ教室(参加人数351人)、育児パパおとこ塾(参加人数 102人)、ままのわ(参加人数 170人)、助産師相談(322人)妊産婦訪問(297件)赤ちゃん訪問(193件)において相談先の周知をはかった。 ③電話相談(610件)や窓口面接(411件)において、随時ちばマイスタイルダイアリーを周知できた。(H30年2月末現在)		
C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	(50) 母性健康管理指導事項連絡カードの対象妊婦への周知を行う 成果:実施率100%		実施率 100%
	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 各種事業や窓口面接、電話相談、家庭訪問等において確実に周知できた。 (課題・問題点) 妊婦や産婦に対してのみ周知しているが、女性が地域で働きながら安心して子育てできるためにも、夫等の周囲の理解が不可欠である。周囲への周知も必要。	
推進委員会による2次評価とその理由			
A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 周知はできている。 (課題・問題点) 妊産婦だけでなく、夫など周囲の方にも周知されたい。		
A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	次年度も継続して各種事業や電話、家庭訪問、窓口面接等において妊婦や産婦だけではなく夫等の周囲の方に対しても周知を図っていく。		

茂原市男女共同参画計画(第3次)に係る事業評価シート

事業No.	60	基本目標	I 人権の尊重
事業名	安心して妊娠・出産するための支援	主要課題	V-2 健やかに安心して暮らせる環境の整備
課係名	健康管理課	施策の方向	V-2(2)安心して妊娠・出産できる環境づくり

A C T (改善)	H28年度末における次年度における取り組み(予定)		
	助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。		

P L A N (計画)	事業の概要		
	子どもを産み育てたいという希望を持ちながら子どもが出来ない夫婦に対し、特定不妊治療等に要する費用の一部を助成することにより当該夫婦の経済的負担軽減を図り、安心して妊娠・出産ができるよう支援する。		

H29予算額	3,120	H29予算額(再掲の場合)	
H29決算見込額	2,956	H30予算額	3,120

D O (実施)	H29年度の具体的な取り組み		
	①特定不妊治療費から「千葉県特定不妊治療費助成事業による助成額」を差し引いた金額について、10万円を上限として助成する。 ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等)を必要とする方について、10万円を上限として助成する。 ③男性不妊検査に係る費用を1万円を上限として助成する。 ④制度の周知を行うことにより助成漏れを防ぐ。		

D O (実施)	H29年度の実施結果 ※実施回数・参加人数(男女別)等を箇条書きで具体的に記入(添付書類 無)		
	①特定不妊治療費助成:31件(平成30年2月末現在) ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等):0件(平成30年2月末現在) ③男性不妊検査:4件(平成30年2月末現在) ④広報もばら、茂原市ウェブサイトにて制度の周知をおこなった。また、県の助成窓口である保健所にチラシの設置を依頼した。		

C H E C K (評価)	数値目標とその成果		H29数値目標
	①特定不妊治療費助成:31件(平成30年2月末助成決定件数) ②男性不妊治療(精巣内精子回収術等):0件(平成30年2月末在助成決定件数) ③男性不妊検査:4件(平成30年2月末助成決定件数)		①30件 ②1件 ③2件

C H E C K (評価)	担当による1次評価とその理由、男女共同参画の視点から見た課題・問題点		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 特定不妊治療費助成及び男性不妊検査については数値目標を超える助成決定を行った。なお、男性不妊治療については申請がなかった。 (課題・問題点) 不妊に悩む夫婦が経済的な理由で子供を持つことをあきらめることがないよう、引き続き制度の周知を行う。	

C H E C K (評価)	推進委員会による2次評価とその理由		
	A:十分な成果を上げた(達成度8割以上)	(評価の根拠) 数値目標を達成している。 (課題・問題点) 引き続き制度の周知に努められたい。	

A C T (改善)	次年度における取り組み(予定)		
	引き続き助成対象となる夫婦に対して正確な情報を提供することに努める。		